J Z

KL-M20

取扱説明書 保証書別添

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

はじめに

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

入力・編集編

設定編

付録

RCA502497-001V01

CASIO

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2005 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- ■本書はKL-M20について説明しています。
  同梱のソフトウェアについては、「CD-ROM収録のPDFファイル取扱説明書」をご参照ください。
- ■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- ■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- ■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- ■本書は、紙メディアである性質上、この中に説明されているソフトが完成するかなり前に印刷されます。このため、本書の印刷終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。また、本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. プラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ＵＳＢケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプター／USBケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／USBケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプター/USBケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター/USBケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. プラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. プラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

ACアダプター／USBケーブルについて

ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／USBケーブルを引っ張らない(必ずACアダプター本体／USBケーブルのプラグを持って抜く)
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプター／USBケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

⚠ 注意

コネクター部への接続

コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注意

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

オートテープカッターに注意する

電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（102ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

もくじ

こんなことができます ····· 11

準備編 ····· 12
各部の名前とはたらき ····· 12
本機を使う前の準備 ····· 14
電源について ····· 15
ACアダプターで使う ····· 15
記憶したデータの保持について ····· 16
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！ ·· 17
電源を入れる・切る ····· 17
オートパワーオフ(節電)機能について ····· 17
印刷する文章の作り方について ····· 18
テープカートリッジを取り付ける/取り外す ·· 19
テープカートリッジを取り付ける ····· 19
テープカートリッジを取り外す ····· 20
キーのはたらき ····· 21
キーの表記について ····· 22
画面の見かた ····· 23

おためし印刷編 ····· 24
まずは作ってみましょう ····· 24
ラベルに印刷する ····· 24
ラベルを貼る ····· 26
テープを空送りする ····· 26
テープの余白を「送り無」にしたときは ····· 26
終了する ····· 27

ラベル作成編 ····· 29
ラベル作成の流れ ····· 29
操作の流れ ····· 29
フォーマットを選んで作る(用途別ラベル) ··· 30
フォーマットを選ぶ ····· 30
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング) ·· 32
ナンバリングの種類 ····· 32
大きなラベルを作る(拡大印刷) ····· 34
ロゴ入りのラベルを作る(ロゴコレクション) ·· 36
内蔵ロゴデータの種類 ····· 36
フリーラベル
自由に入力して作る(フリーラベル) ····· 37
フリーラベルを作る ····· 37
文章をブロックに分ける ····· 38
2行以上のラベルを作る ····· 39
ラベルの書式を決める ····· 40
ブロックごとに書式を決める ····· 40
文章全体の書式を決める ····· 41
ラベルの長さを自由に決める ····· 44
ブロックの長さを設定する(ブロック長固定) ····· 44
ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定) ····· 46
VHS・FD・MD用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さキー) · 46

フリーラベル
文章のバランスを整える(割付) …… 48
ブロック内で文字のバランスを整える …… 48
ラベル内のブロックのバランスを整える …… 49
文字の大きさを決める …… 50
文字単位で大きさを決める …… 50
行単位で大きさを決める(フォーマット選択) …… 52
フレームをつける …… 54
縦書きのラベルを作る …… 55
バーコードラベルを作る …… 56
バーコードのタイプ …… 56
バーコードの仕様 …… 58
QRコードラベルを作る …… 59
印刷できるQRコードのタイプ …… 59
伝言板を使う …… 62
印刷とカットモード …… 64
カットモードについて …… 64
カットのしかたと余白について …… 67
作成したデータを登録する・呼び出す …… 68
データを登録する …… 68
登録したデータを呼び出す …… 68
登録したデータを削除する …… 69

入力・編集編 …… 71
カーソルのはたらきと動かしかた …… 71
ローマ字入力？それともかな入力？ …… 72
ローマ字入力とかな入力を切り換える …… 72
入力する文字の切り替え方法 …… 72
ひらがな・カタカナの入力 …… 72
アルファベット(大文字・小文字)の入力 …… 72
ひらがな・カタカナの入力 …… 73
ひらがなの入力 …… 73
カタカナの入力 …… 73
いろいろな文字の入力方法 …… 74
漢字の入力 …… 74
文章を入力してから変換する …… 74
同音異義語を変換する …… 75
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換) …… 76
アルファベットや数字の入力 …… 77
アルファベット(大文字)の入力 …… 77
アルファベット(小文字)の入力 …… 78
数字の入力 …… 78
記号の入力 …… 78
キーに印刷されている記号 …… 78
その他の記号 …… 79
絵文字の入力 …… 79
文字を修正・削除するときは …… 80
間違った文字を消す …… 80
すべての文字を消す(文削除) …… 81
間違った文字をなおす …… 81
文字が抜けていたら・・・ …… 83
書体(フォント)を変える …… 83
入力済みの文字の書体を変える …… 84

電源を入れたときの書体を決める …… 85
文字を上付・下付にする …… 86
文字を目立たせる …… 87
文字に飾りをつける …… 88
文字修飾を指定する …… 88
文字修飾を取り消す …… 89
よく使う語句を登録する/呼び出す（プリセットタイトル）…… 90
プリセットタイトルを呼び出す …… 90
新しくプリセットタイトルを作る …… 90
プリセットタイトルを修正する …… 91
プリセットタイトルを削除する …… 91
入力した文字をコピーする・貼りつける（コピー・ペースト）…… 92
文字をコピーする …… 92
コピーした文字を貼りつける（ペースト）…… 93
オリジナルの文字（外字）を作る …… 93
はじめから自分で作る（新規作成）…… 93
本機にある文字を利用して作る（参照作成）…… 94
すでに作ってある外字を修正する …… 95
外字を使う …… 95
登録した外字を削除する …… 95

設定編 …… 97
設定を変える …… 97
設定できる項目 …… 97
ブザー音を消したい …… 97
画面の明るさを変えたい …… 97
印刷の濃さを変えたい …… 98
サンプルデータを印刷する（デモ印刷）…… 98

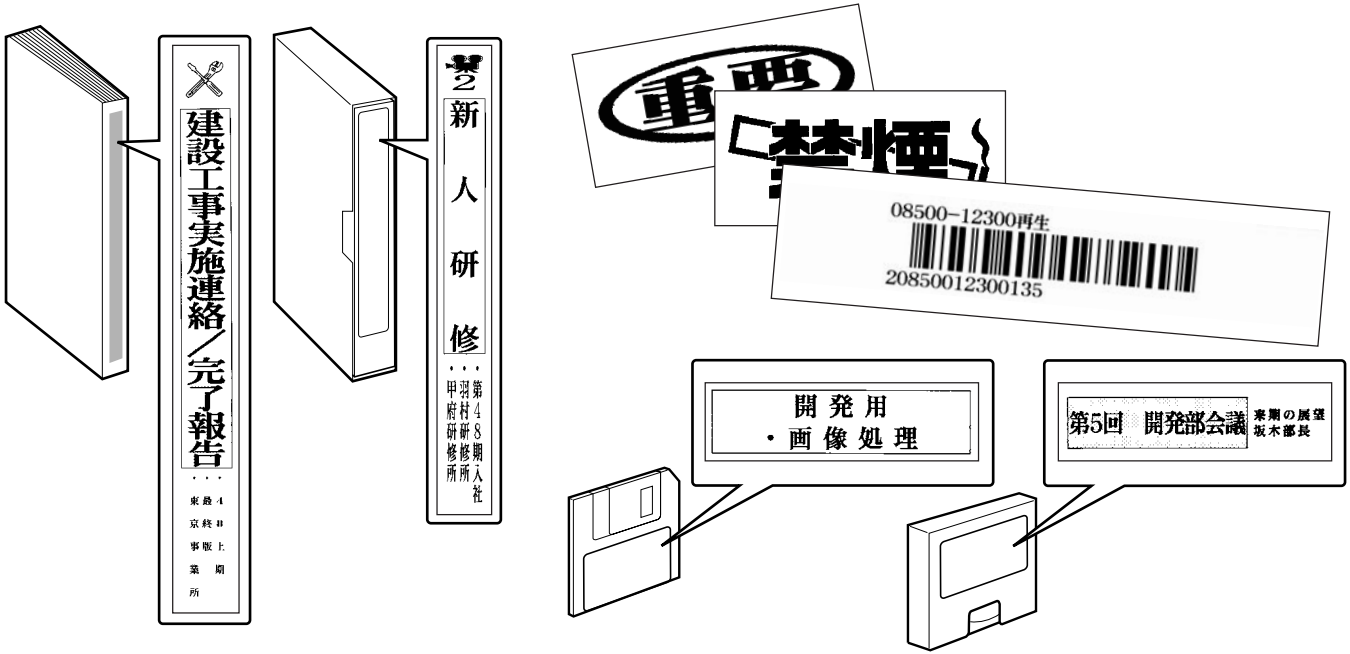
付録 …… 101
電源について …… 101
乾電池で使う …… 101
お手入れの方法 …… 102
綿棒できれいにする …… 102
クリーニングテープを使う …… 103
こんなときは（トラブルシューティング）… 103
エラーメッセージ一覧 …… 106
ローマ字入力一覧 …… 109
記号・絵文字一覧 …… 111
フレーム一覧 …… 114
用途別ラベルフォーマット一覧 …… 115
ナンバリングフォーマット一覧 …… 118
テープ幅と行数・倍率一覧 …… 118
各機能における使用可能テープ幅一覧 …… 118
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ …… 118
内蔵漢字一覧 …… 119

仕様 …… 124
別売品一覧 …… 126
索引 …… 128
保証・アフターサービスについて …… 131

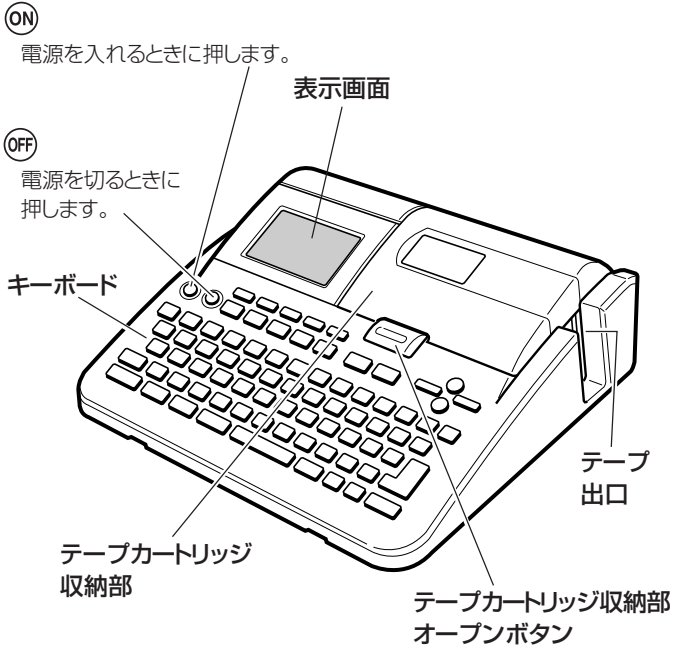
こんなことができます

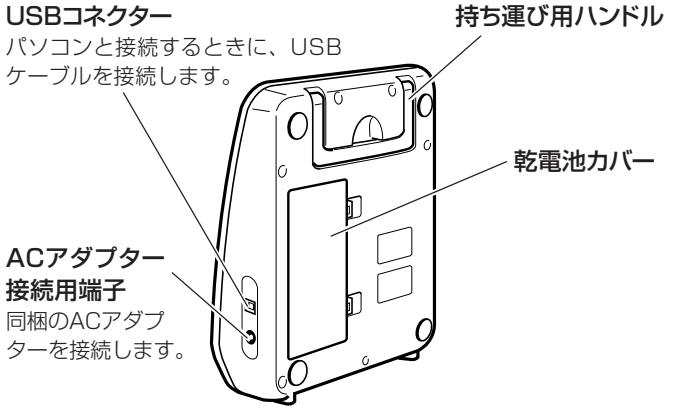
パソコンとの接続やソフトのインストールの必要がなく、
KL-M20だけで簡単に印刷ができます。

ビデオカセットや名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。



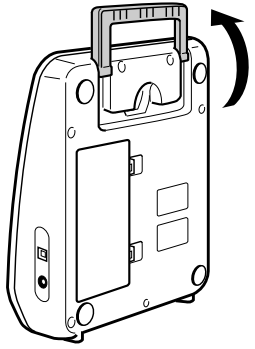
各部の名前とはたらき





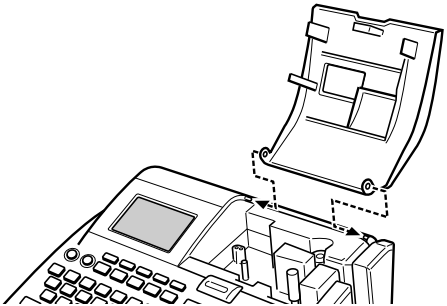
■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。



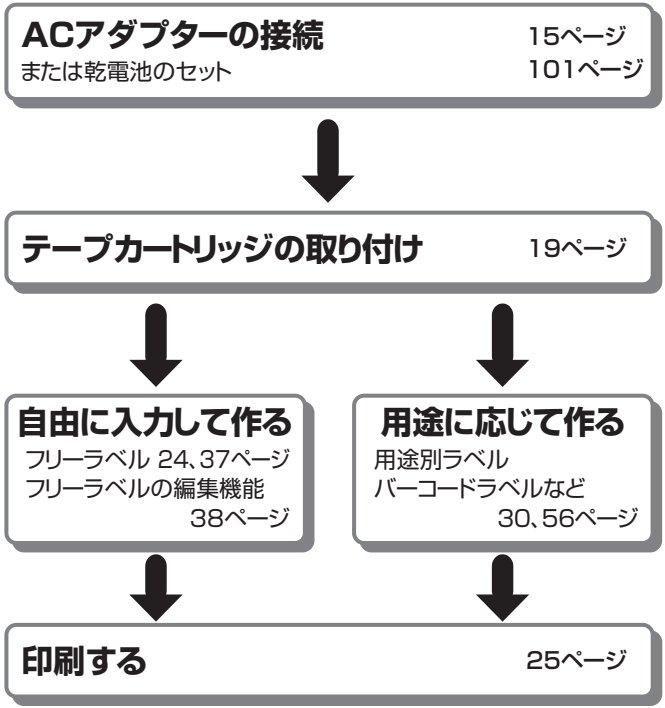
■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



本機を使う前の準備

操作の流れ



電源について

本機を使うときは、電源として同梱のACアダプターまたは市販のアルカリ乾電池を使います。

• 市販の乾電池のセットのしかたは、101ページをご覧ください。

ACアダプターで使う

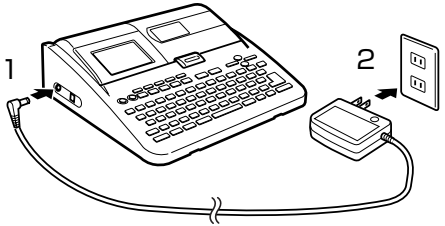
同梱のACアダプター(AD-A12090L)を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。

■取り付ける

重要
- 同梱のACアダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USBケーブルとACアダプターを接続してください。くわしくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

2 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。

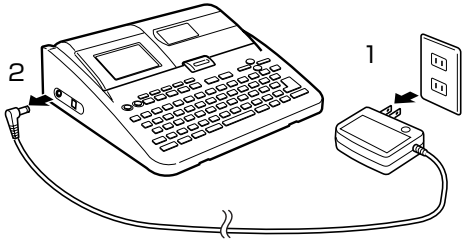


■取り外す

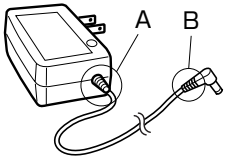
重要
- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- USBケーブルを接続している場合は、ACアダプターを取り外す前にパソコンと本機からUSBケーブルを抜き取ってください。

1 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

2 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。



重要 電源コードの両端部分(図のAおよびB)は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。



⚠ 警告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプター／USBケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／USBケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプター／USBケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- ACアダプター／USBケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプター／USBケーブルについて

ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／USBケーブルを引っ張らない（必ずACアダプター本体／USBケーブルのプラグを持って抜く）
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプター／USBケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年１回以上清掃する。

記憶したデータの保持について

本機は、入力・登録した文章などのデータを内蔵メモリー保護用電池のはたらきで記憶しています。
本機底面のラベルに表示されている交換期限を経過すると、内蔵メモリー保護用電池が消耗して、入力・登録したデータが変化したり消去されてしまいます。交換期限までに内蔵メモリー保護用電池の交換をお買上げの販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（137ページ）にご依頼ください。有料で交換いたします。

本機に入れた文章などのデータは、内蔵電池の働きで本機内に記憶されています。データの消失を防ぐ為に、下記交換時期迄にお買い上げの販売店又はカシオテクノ・サービスステーションへ内蔵電池の交換（有料）を御依頼ください。

交換時期：20XX 年 XX月

- 本機に登録しているデータ（文字や文章など）は、必ずノートなどに控えをとっておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 OFF を押します。

2 **印刷 と 取消し をいっしょに押しながら、 ON を押します。**
印刷 と 取消し をいっしょに押し続けたまま、 ON から指を離します。
「メモリー初期化　実行／取消し」が表示されます。

3 **実行 を押します。**
メインメニュー画面が表示されます。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

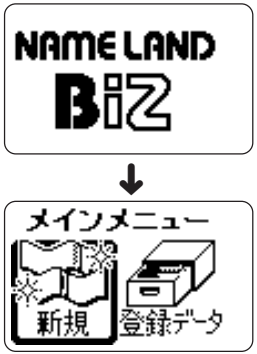
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。
「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からは ON を押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

ON を押します。



電源を切るには…

OFF を押します。

- 画面の明るさを調整するときは、97ページをご覧ください。

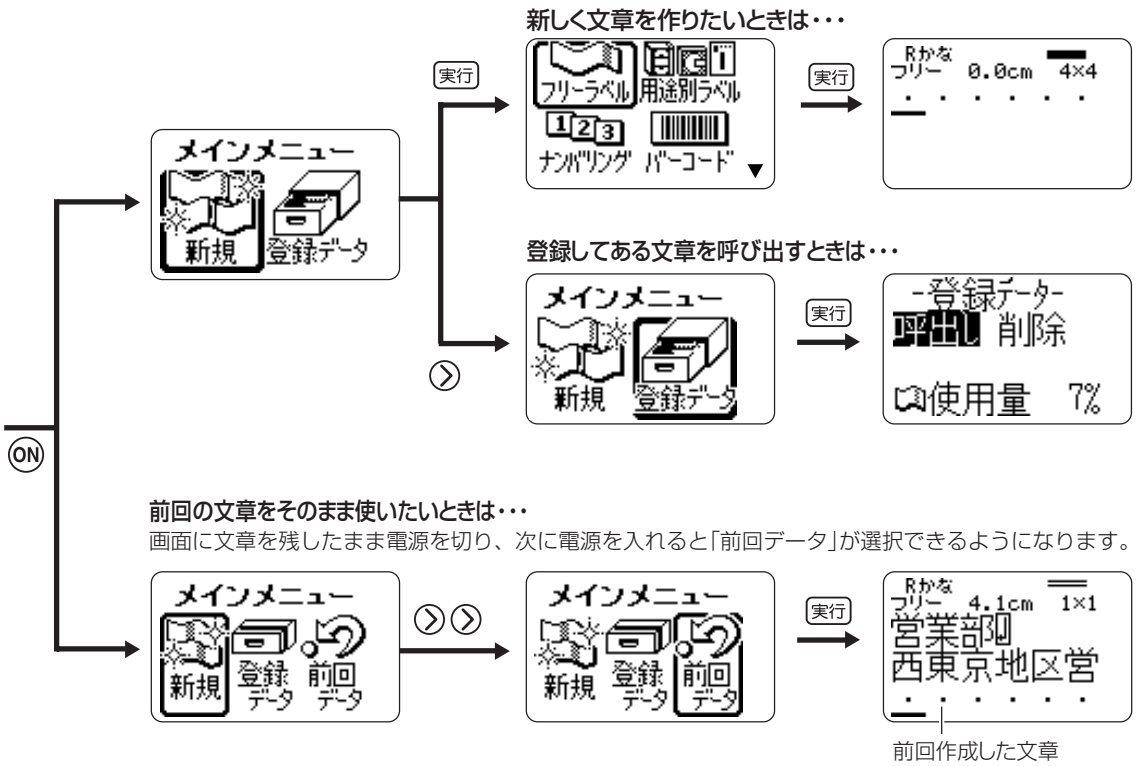
オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
ふたたび本機を使うときは、 ON を押してください。

- ACアダプターを使用して、伝言板(62ページ)を表示しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- ACアダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。



- メインメニュー画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作を行ってください。（データの登録→68ページ）

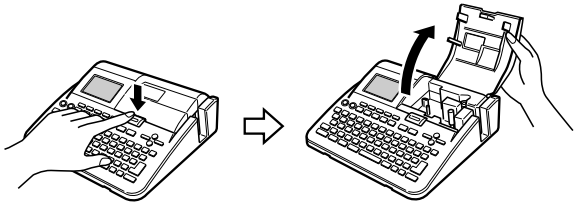
テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルに印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。(別売品一覧→126ページ)

テープカートリッジを取り付ける

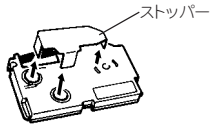
1 (OFF) を押して、電源を切ります。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

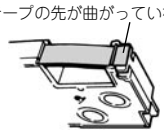


重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

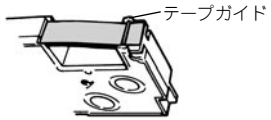
3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



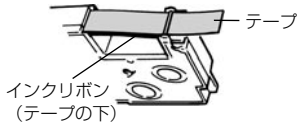
4 テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。



5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。
テープガイドから外れているときは、イラストのようにラベルの先をテープガイドに通してください。

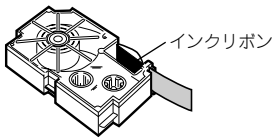


6 テープを約3cm引き出します。



重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

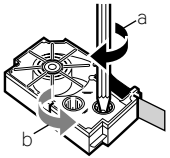
7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。



重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

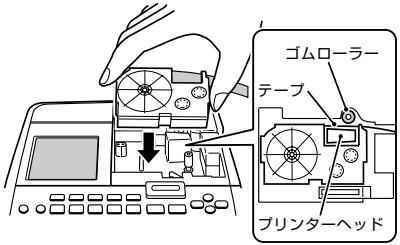
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

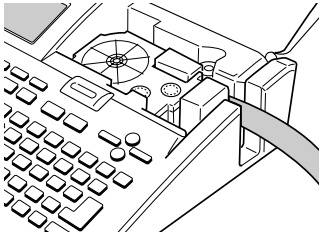


8 テープカートリッジをセットします。

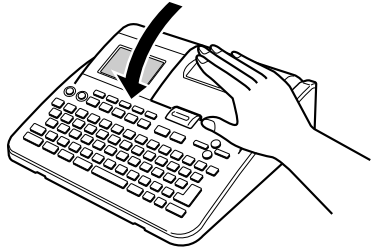
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。





9 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



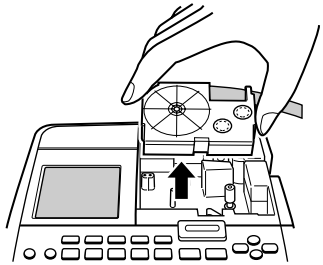
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 (OFF) を押して電源を切ります。

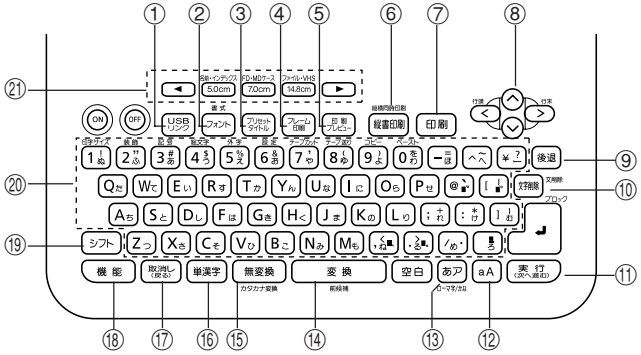
2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。



キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、97ページをご覧ください。

①	USB リンク	パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
②	書式 フォント	フォント(書体)を選ぶときに押す。 ・書式を設定するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
③	プリセット タイトル	よく使う単語や文章を登録するときに押す。 また、登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。
④	フレーム 印刷	フレーム印刷をするときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
⑤	印刷 プレビュー	印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 ・縦横同時印刷をするときは、機能を押し指を離してからこのキーを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
⑦	印刷	印刷するときに押す。
⑧		・文字が入る位置を示した_や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 ・項目などを選択するときに押す。
⑨	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩	文削除 文字削除	・カーソルの上の文字を消すときに押す。 ・入力中の項目の文章をすべて消すときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪	実行	操作を進めるときに押す。
⑫	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(77ページ)

⑬	あア ローマ字/かな	•ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。 （72ページ） •ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑭	変換 前候補	•ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 •1つ前の変換に戻るとき（前候補）は、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮	無変換 カタカナ変換	•漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 •入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑯	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑰	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑱	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑲	シフト	•かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。（74ページ） •アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字（または小文字）を入れる場合に押す。 （77ページ）
⑳	（文字キー）	文字を入れるときに押す。
㉑		フリーラベルで長さを設定するときに押す。 •フリーラベル以外では使用できません。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を1 ぬ や実行などのように表記しています。

例 1 ぬ を押したあとに続けて実行を押すときの表記

↓

1 ぬ 実行 と押します。

●本機のキーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能（「設定」や「カタカナ変換」など）を使うには、機能を押し、指を離してから機能と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記

↓

機能 を押し、指を離してから 設定 6 &/@ を押します。

●操作手順の中で、「△▽◁▷を押して…」「△▽を押して…」「◁▷を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

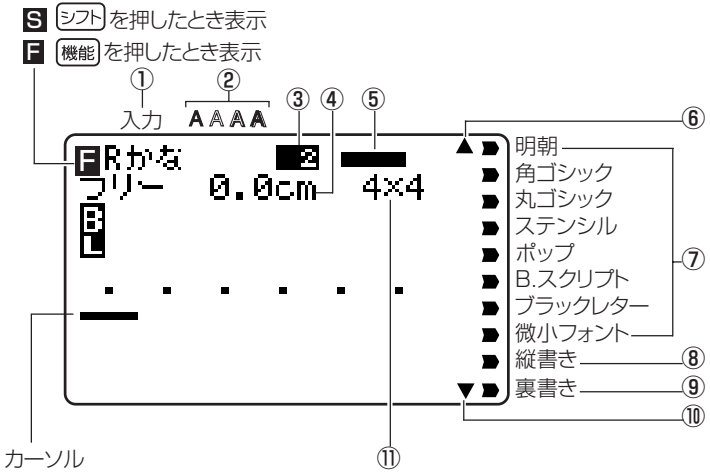
●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは取消しを押します。

●取消しを何回押しても希望の画面に戻らないときは、OFF を押して一度電源を切ります。ON を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

・画面の明るさを変えるときは、97ページをご覧ください。



①	入力できる文字の種類を示す。(72ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(87ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(38ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(44ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(39ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体(フォント)が何になっているかを示す。(83ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(40ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(41ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(50ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルに印刷する

[印刷例]

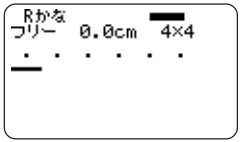
1 **(ON)を押して、電源を入れます。**

- 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります（18ページ）。

2 **〈〉を押して「新規」にし、[実行]を押します。**

3 **△▽〈〉を押して作りたいラベルの種類を選び、[実行]を押します。**

ここでは「フリーラベル」を選びます。

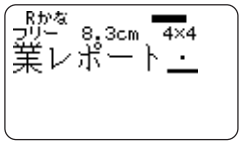


4 **文字を入力します。**

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、27ページをご覧ください。

続いて、ラベルに印刷します。



5 **[実行]を押します。**

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **[印刷/プレビュー]を押します。**

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押します。**

その部分が止まります

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは[取消し]を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

重要 **印刷する前に、テープ出口（12ページ）が物などでふさがっていないことを確めてください。**

- テープカートリッジがセットされていることを確認してください（19ページ）。

1 印刷 になっていることを確認して、実行 を押します。

2 ◁▷を押して、印刷する枚数を指定します。

ここでは「1枚」にします。

- ◁を押すと数字が減り、▷を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。
  0枚を指定することはできません。

3 ▽を押します。

4 カットモードを指定します。

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、64ページをご覧ください。

5 実行 を押します。

印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、取消し を押します。

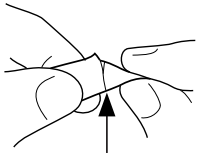
重要
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（12ページ）
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消し を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

ラベルを貼る

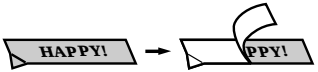
1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。**

2 **ラベルの裏を剥がして、貼ります。**

●ハーフカット部分から剥がすとき
ハーフカット部分をゆっくりと
ひねるようにして、テープを台
紙から剥がします。



●フルカットされたラベルを剥がすとき
ラベルの角を折り曲げると、剥がしやすくなります。



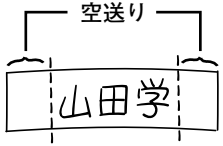
- 一度貼ったラベルを剥がすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- 直射日光や雨があたるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…
- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）

テープを空送りする

印刷する前、した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。



1 **機能** **8 ゆ**（テープ送り）**と押します。**
↓
テープが約21.5mm送られます。

テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（43ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **機能** **7 ゃ**（テープカット）**と押して、テープをカットします。**

重要 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っぱったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する

1 **上の画面が表示されているときに〈〉〉を押して 終了 にし、実行 を2回押します。**

・「登録」については、68ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(72ページ)

あア を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

E い I に G ぎ Y ん O ら U な　変換 を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら 実行

■「レポート」を入力します。

あア を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

R す E い P せ O ら ¥ ? ー T か O ら

・誤った文字を入力したときは、文字削除 (80ページ)や 後退 (80ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

・**文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(71ページ)をご覧ください。**

MEMO

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルに印刷するときは、以下の手順で行います。

ACアダプターの接続 15ページ
または乾電池のセット 101ページ

↓

テープカートリッジの取り付け 19ページ

↓

自由に入力して作る
フリーラベル
37ページ
フリーラベルの編集機能
38ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル
バーコードラベルなど
30、56ページ

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル 37ページ
用途別ラベル 30ページ
ナンバリング 32ページ
バーコード 56ページ
QRコード 59ページ
拡大印刷 34ページ
ロゴコレクション .. 36ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（68ページ）

前回作成したデータを使うときは（18ページ）

2 文字を入力する（72ページ）

3 文字を修飾する
書体（フォント）を変える（83ページ）、文字を目立たせる（文字体）（87ページ）

ラベルを印刷（25ページ）・登録（68ページ）・終了する

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)

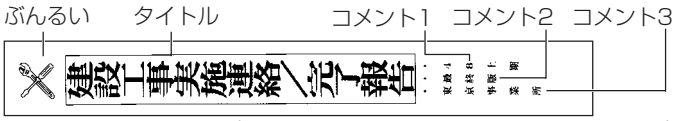
本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

- ビデオラベル･オーディオラベル･名前ラベル･送付ラベル･ファイルラベル･値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]



(18mm幅テープ/ファイル/ファイル背/大3)

重要 115ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 (ON)を押して、電源を入れます。

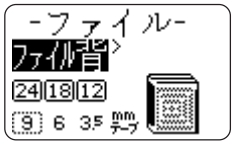
- ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます(18ページ)。

2 ◁▷を押して「新規」を選び、[実行]を押します。

3 △▽◁▷を押して「用途別ラベル」を選び、[実行]を押します。

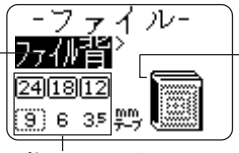
4 ▲▼◀▶を押して作成するラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面の見かた

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。



ラベルの種類を示します。

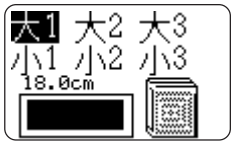
ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

9 18 ・・・使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。
18 ・・・・・・・最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。
6 ・・・・・・・・・使用できないテープ幅は、囲まれません。

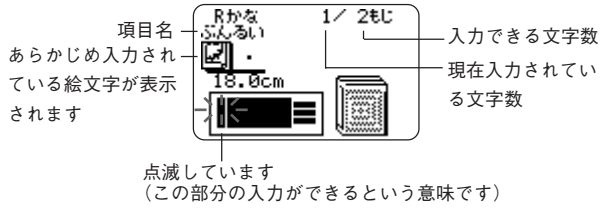
5 ◀▶を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。



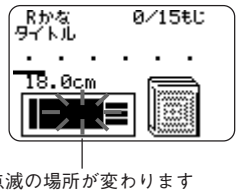
6 ▲▼◀▶を押してフォーマットを選び、実行を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(115ページ)をご覧ください。
ここでは「大3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- ほかの絵文字に変えるときは、79ページをご覧ください。



8 **文字を入力し、実行を押します。**

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

・枠がつけられるフォーマットの場合は、機能を押し指を離してから2ふを押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。

・ラベルデータを印刷するときは→25ページ
・ラベルデータを登録するときは→68ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから書式フォントを押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

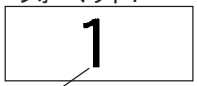
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作ることができます。

重要 3.5mm幅のテープカートリッジは使用できません。

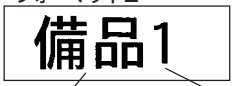
ナンバリングの種類

・フォーマット1



ナンバー

・フォーマット2



コメント(99文字まで)　ナンバー

・フォーマット3

ナンバー　コメント(99文字まで)

・フォーマット4

コメント1(99文字まで)　ナンバー　コメント2(99文字まで)

・フォーマット5

ナンバー　コメント(99文字まで)

・フォーマット6

ナンバー　コメント(99文字まで)

[印刷例]

備品No.15(総務管理)
備品No.16(総務管理)
備品No.17(総務管理)

「備品No.15(総務管理)」～「備品No.17(総務管理)」のラベルを印刷します。

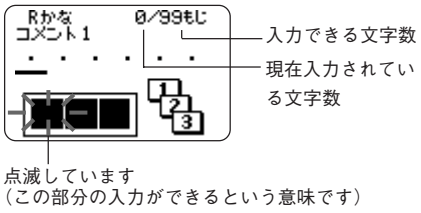
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、取消しを押して印刷を中止してください。

1 **(ON)を押して、電源を入れます。**

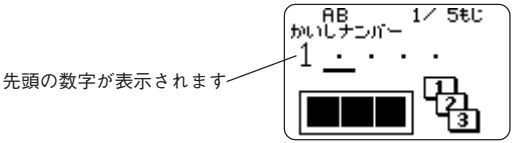
2 **◇を押して「新規」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◇◇を押して「ナンバリング」を選び、実行を押します。**

4 **△▽◇◇を押してフォーマットを選び、実行を押します。**
ここでは「4」を選びます。



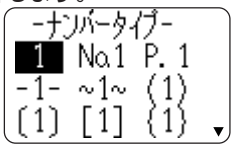
5 **「コメント1」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「備品」と入力します。



6 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、実行を押します。**
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

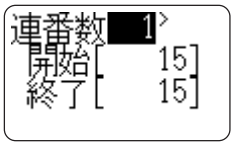
・先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

7 **「コメント2」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **△▽◇◇を押してナンバリングの形を選び、実行を押します。**
ここでは「No.1」を選びます。

9 **◇◇で印刷を選び、実行を押します。**



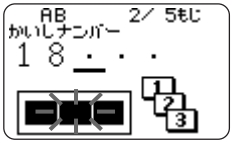
10 **◁▷を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから[実行]を押します。**

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。
・1～100までを入力できます。

11 **◁▷を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。**

・カットモードについて詳しくは、64ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。
・ナンバー「９９９９９」の次は、「00000」が印刷されます。
・「長さオーバー　印刷できません」「長さが短すぎてカットできません」と表示されたときは、108ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

重要 ・テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは→68ページ

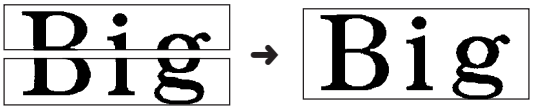
印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。
・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
・「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に[機能]を押し、指を離してから[書式 フォント]を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

大きなラベルを作る(拡大印刷)

本機では、24mm幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベルも作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1枚のラベルにします。



文字を2枚のテープに分けて印刷

2枚を並べて貼ると、1枚のラベルが完成

重要 12mm幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

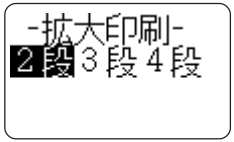
[印刷例]　Big　(12mm幅テープ/2段)

1 **[ON]を押して、電源を入れます。**

2 **◁▷を押して「新規」を選び、[実行]を押します。**

3 **△▽◁▷を押して「拡大印刷」を選び、[実行]を押します。**

4 文字を入力し、実行を押します。



5 ◁▷を押して拡大する文字の大きさを設定し、実行を押します。

2段とは、「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
ここでは「2段」を選びます。

テープ幅	文字の大きさ		
	2段	3段	4段
12mm	24mm	36mm	48mm
18mm	30mm	45mm	60mm
24mm	30mm	45mm	60mm

6 ◁▷で印刷を選び、実行を押します。

7 ◁▷を押して何段目を印刷するかを設定し、▽を押します。

ここでは「全部」を選びます。

8 ◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。

印刷が始まります。

- カットモードについて(64ページ)
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”の表示になって、印刷を一時停止することがあります。
  プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- “印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2段目の印刷が終わったら、この画面になります。

テープを2段並べて貼ります

- 18㎜幅テープ、24㎜幅テープに印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。18㎜幅テープ、24㎜幅テープに印刷するときは、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に機能を押し、指を離してから書式 フォントを押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

ロゴ入りのラベルを作る(ロゴコレクション)

内蔵されている21種類のラベルを簡単に印刷することができます。内蔵されているラベルの内容やデザインを変更することはできません。

内蔵ロゴデータの種類

重要
- 18mm･24mm幅以外のテープカートリッジでは、この機能は使用できません。
- 拡大印刷、裏書き印刷をすることはできません。

1 (ON) を押して、電源を入れます。

2 ◁▷を押して「新規」を選び、[実行]を押します。

3 ◁▷△▽を押して「ロゴコレクション」を選び、[実行]を押します。

4 **△▽◁▷を押して印刷したいロゴを選び、実行を押します。**

5 **◁▷で印刷を選び、実行を押します。**

6 **数字キー(または◁▷)を押して印刷する枚数を設定し、▽を押します。**
1～100枚まで設定できます。

7 **◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。**

• カットモードについて(64ページ)

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

❶ ON を押して、電源を入れます。

❷ ◁▷を押して「新規」にし、実行を押します。

❸ △▽◁▷を押して「フリーラベル」を選び、実行を押します。

❹ 自由に文字を入力します。

• フリーラベルの作り方について詳しくは24ページをご覧ください。

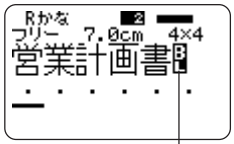
文章をブロックに分ける

下の印字例の「営業計画書」「国内営業部　営業第三課」は、それぞれ独立したかたまりです。このかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

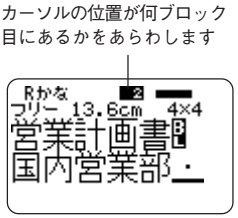
[印刷例]　営業計画書　国内営業部　(を別々のブロックに分ける)

1 **最初のブロックの文字を入力します。**
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 **機能を押し、指を離してから↵を押します。**
「営業計画書」が1つのブロックになります。



3 **次のブロックの文字を入力します。**
ここでは「国内営業部」と入力します。



- ブロックマークを消すときは、「▮」の位置にカーソルを合わせ、文字削除を押します。
  ※後退を押しても▮マークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16個までです。
- ラベルデータを印刷するときは→25ページ
- ラベルデータを登録するときは→68ページ

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、機能を押し、指を離してから↵を押します。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行

テープの幅	最大行数
12mm	5行
18mm	8行
24mm	8行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（50ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]　顧客リスト
最新版

1 1行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 [↵]を押します。

3 2行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

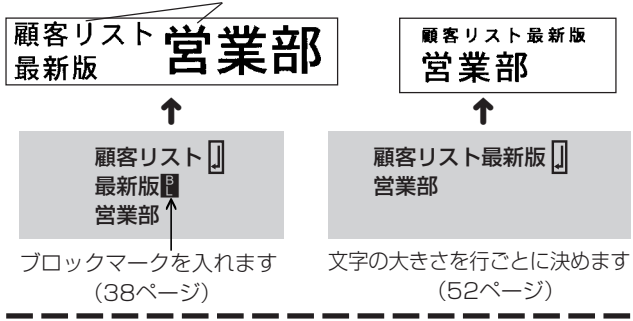
改行マークが入ります（画面だけの印なので印刷されません）

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージであらわします。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、[↵]を押します。
- 改行を取り消すときは、[文字削除]を押してマークを削除します。
  ※[後退]を押しても「↵」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
  微小フォントでの印刷について→85ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→25ページ
- ラベルデータを登録するときは→68ページ

こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷（50ページ）



ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール(書式)で作るのかを決めます。
ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック(38ページ)ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 方向　方向
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。➜48ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ(間隔)を決めます。 文字間隔　文 字 間 隔
ブロック長	ブロックの長さを決めます。➜44ページ参照

■設定する

1 **文章を入力し、ブロックに分けます。**

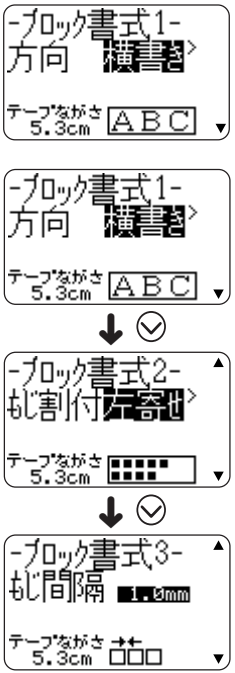
2 **書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。**
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能を押し、指を離してからフォント(書式)を押します。**
ブロックが1つだけの場合には手順**6**に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **△▽を押してブロック書式を選び、実行を押します。**

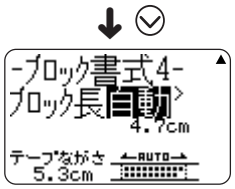
5 **△▽を押してこのブロックのみを選び、実行を押します。**
・すべてのブロックを共通の書式にするときは△▽を押して全ブロックにします。

6 **各項目を設定します。**
・△▽を押して設定項目を選びます。
・◁▷を押して希望の項目を表示させます。



設定項目	内　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する➜48ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔(0.0～31.9㎜)を指定する(◁▷を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) ※「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「こてい」とした場合は、文字間隔の指定はできません。

設定項目	内　容
ブロック長	• 自動: 文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する • ブロックの長さを任意に設定するときは〈〉を押して「固定」を選ぶ ➜44ページ参照



7 **各項目を設定したら、実行を押します。**

こんなラベルを作るには…

cinema 12月24日

cinema BL
12月24日

BLマークを入れる

記号の「12」(グループ=数字)　記号の「24」(グループ=数字)

記号の入力について詳しくは、78ページをご覧ください。

①「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。

② 機能を押し、指を離してから書式 フォントを押して、「ブロック書式」➜「このブロックのみ」➜「縦書き」とする。

↓

印刷する

文章全体の書式を決める

文章全体の書式を決めます。
ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	表裏 • ハンカチやTシャツなどの布製品にアイロンプリントするときに設定します。布転写テープカートリッジ(別売)をご用意ください。 • ガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。テープ色が透明なテープカートリッジ(別売)をご用意ください。
斜め	文字を斜めに印刷するときに選びます。 **しない**　斜め **する**　斜め
プロポーショナル	プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「プロポーショナルON」にすると、より美しく仕上がります。 **ON**　CASIO **OFF**　CASIO

スムージング	印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにする(ON)かしない(OFF)かを選びます。 ON OFF
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選びます。 密着 顧客リスト 最新版 営業部 普通 顧客リスト 最新版 営業部 広い 顧客リスト 最新版 営業部
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。 ➜43ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 ➜44ページ参照
ブロック割付	ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 ➜49ページ参照

■設定する

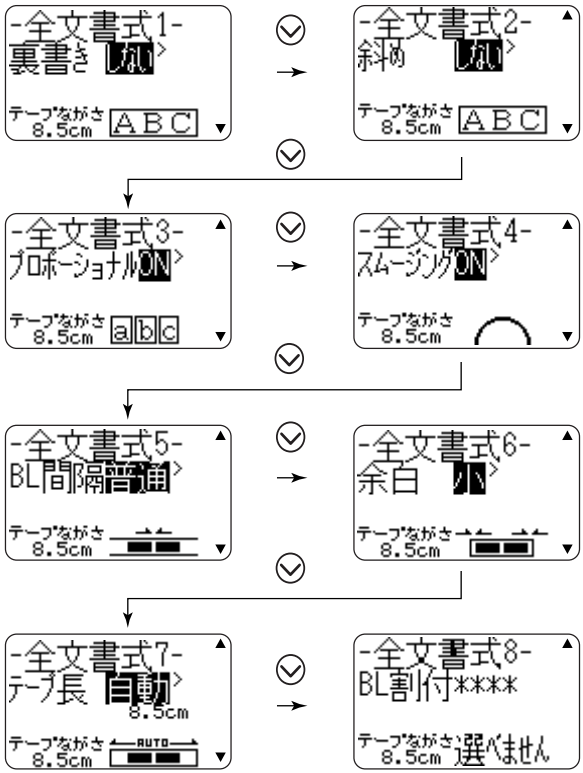
1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから書式 フォントを押します。**
ブロックが1つだけの場合には手順**4**に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3 **△▽を押して全文書式を選び、実行を押します。**

4 **各項目を設定します。**
- △▽を押して設定項目を選びます。
- ◁▷を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内　容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	ON ：アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する OFF：アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ
テープ長	•自動： 文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する •ラベル全体の長さを任意に設定するときは、◁▷を押して「固定」を選ぶ➜44ページ
ブロック割付	ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ➜49ページ ※テープ長さを「固定」にしたときのみ有効



5 **各項目を設定したら、実行を押します。**

余白について

ラベルの前後につくスペースを**余白**といいます。
次の3種類の余白を選べます。

余白小

余白中

余白大

重要 テープの長さが短い(余白小のとき:約28mm、余白中のとき:約35mm、余白大のとき:45mm)場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

送り無

- 「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- 「送り無」と設定したときは、テープは自動的にはカットされません。テープをカットするときは、機能を押し、指を離してからテープカット 7やを押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する(ブロック長固定)。
- ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)。
- VHS・FD・ MD用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する(テープ長さキー)。

ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)

ブロック(38ページ)の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

・ブロックの分けかた(38ページ)

2 **長さを決めるブロックにカーソルを移動します。**
そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

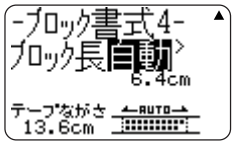
3 **機能を押し、指を離してから書式 フォントを押します。**
ブロックが1つだけの場合には、手順**6**に進んでください。

4 **△▽を押して「ブロック書式」を選び、実行を押します。**

5 **△▽を押して「このブロックのみ」を選び、実行を押します。**

・すべてのブロックを共通の書式にするときは△▽を押して「全ブロック」にします。

6 **△▽を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。**



7 **◁▷を押して、「ブロック長　固定」にします。**

8 **▽を押します。**

数値が反転します

9 **数値キー、または〈(減)・〉(増)を押して、 ブロックの長さを設定します。**

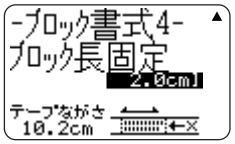
・ブロックの長さと入力されている文字により、次のようになります。

[6.0cm]
↑
指定通りに印刷

営業部

(4.0cm]
↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部



2.0cm]
↑
指定した長さより長く印刷

営業部

10 実行 **を押します。**

イメージャー表示について

「ブロック長　固定」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*
[■■■■]	(■■■■]	■■■■]

* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)

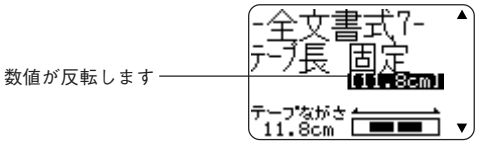
1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから書式 フォントを押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順**4**に進んでください。

3 ∧∨を押して**全文書式**を選び、実行を押します。

4 ∧∨を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 ＜＞を押して、「テープ長　**固定**」にし∨を押します。



6 数値キーまたは＜(減)・＞(増)を押して、ラベルの長さを設定し、実行を押します。
- 入力されている文字に合わない長さにすると、「長さエラー」となり、次のような表示になります。

[10.5cm] ↑ 指定通りに印刷

10.4cm] ↑ 指定したテープ長より長くなって印刷

VHS・FD・MD用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さキー)

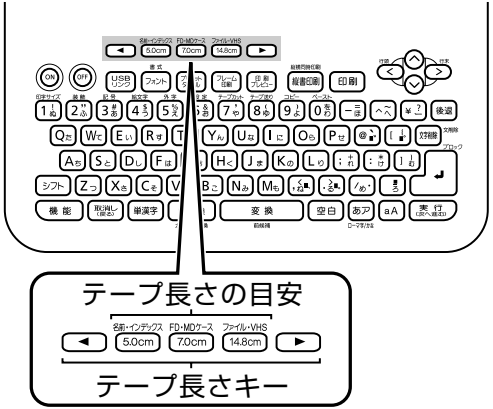
テープ長さキーを使えば、VHSビデオテープやフロッピーディスク、MD用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

重要
- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」で行ってください。
  テープ長さキーで設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。
- テープ長さキーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さキーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「BL割付：均等」に設定されます(ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです)。
- フリーラベル以外では、テープ長さキーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さキー	適したもの
14.8cm	VHSビデオテープの背ラベル・ペーパーファイル・バインダーなど
7.0cm	フロッピーディスク・MDケース・MOなど
5.0cm	名前シール・インデックスなど

※1mm単位で長さを調整することもできます。



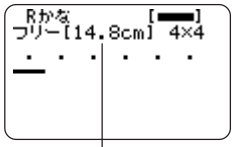
設定する

[例]　VHSビデオテープ用のラベルの長さを設定する

1 14.8cmを押します。

▶を押すと長くなり、◀を押すと短くなります。

・文字入力はラベルの長さを設定する前でも設定した後でもかまいません。



長さが14.8cmに変わります。

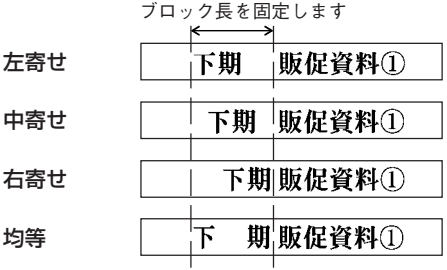
文章のバランスを整える(割付)

文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

［例］　「下期」のバランスを整えます。



1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

・ブロックの分けかた(38ページ)

2 **割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、[機能]を押し、指を離してから[フォント]を押します。**

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。
ブロックが1つだけの場合には、手順**5**に進んでください。

3 **△▽を押して「ブロック書式」を選び、[実行]を押します。**

4 **△▽を押して「このブロックのみ」を選び、[実行]を押します。**

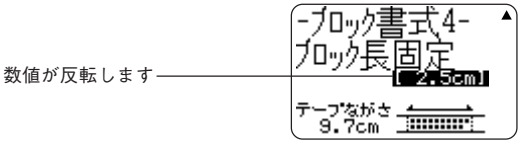
5 **△▽を押して「もじ割付」の設定画面にします。**

6 **◁▷を押して、割付の種類を表示させます。**

◁▷を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

7 **△▽を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。**

8 **◁▷を押して「ブロック長　固定」にし、▽を押します。**



9 **数値キー、または◁(減)・▷(増)を押して、元のブロック長より長い数値にし、[実行]を押します。**

2行以上の文章のときは、「ブロック長　自動」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　期 販促資料①

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ	開発部 食品課 江藤まこと
均等	開発部 食品課　江藤まこと
中寄せ	開発部 食品課 江藤まこと
右寄せ	開発部 食品課 江藤まこと

重要 ブロックの割付は、「テープ長　固定」と設定されているときのみ有効です。

1 **文字を入力し、ブロックに分けます。**

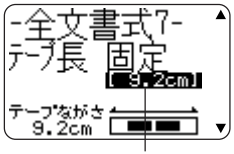
・ブロックの分けかた（38ページ）

2 **機能を押し、指を離してからフォント（書式）を押します。**
ブロックが1つだけの場合には、手順4に進みます。

3 **△▽を押して全文書式を選び、実行を押します。**

4 **△▽を押して、「テープ長」を画面に表示させます。**

5 **◁▷を押して、「テープ長　固定」にし、▽を押します。**



数値が反転します

6 **数値キー、または◁（減）・▷（増）を押して、希望の数字（ラベルの長さ）にします。**
元の長さより長い数値にします。

7 **▽を押して、「BL割付」の設定画面にします。**

8 **◁▷を押して、希望の割付の種類を表示させ、実行を押します。**
◁▷を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

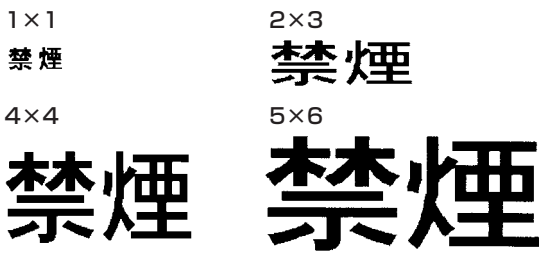
文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(**ジャストフィット印刷**)。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。
- **文字単位で大きさを決める**
- **行単位で大きさを決める**

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1×1」～「5×8」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値(縦方向)は異なります(テープ幅と行数・倍率一覧 118ページ)。



- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます(上の印刷例はすべて横書きで作成しています)。

[例]　「終日禁煙」の「終日」を1×3にする

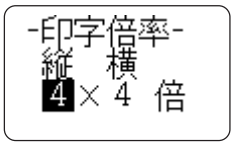
1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 印字サイズ 1 を押します。

3 ∧ ∨を押して**印字倍率**を選び、実行 を押します。

4 ∧ ∨を押して**文字単位**を選び、実行 を押します。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。



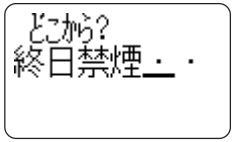
6 ∧ ∨を押して、「縦」の倍率を設定します。
ここでは縦倍率を「1」にします。
- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

7 **▷を押して、「横」の倍率数値を反転させます。**

・数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。

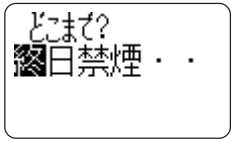
8 **△▽を押して「横」の倍率を設定し、実行を押します。**

ここでは横倍率を「3」にします。



9 **◁▷を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

ここでは「終」を指定します。

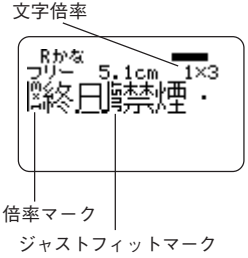


10 **◁▷を押して大きさを変える最後の文字を選び、実行を押します。**

ここでは 終日 にします。

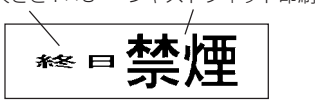
文字倍率：　カーソルが合っている文字の大きさをあらわします。
倍率マーク：印刷される文字の大きさをあらわします。

ジャストフィットマーク：
自動的につきます。このマークよりうしろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



・倍率マークやジャストフィットマークは画面だけの印ですので、印刷されません。
・文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを文字削除で削除します。

※倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
※倍率の範囲指定は、ブロックを超えて行うことはできません。



行単位で大きさを決める(フォーマット選択)

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット		24/18mm幅	12mm幅	9mm幅
1行	A		1×1倍	1×1倍	1×1倍
	B		2×2倍	2×2倍	2×2倍※
	C		3×3倍	3×3倍※	—
	D		4×4倍	—	—
	E		5×5倍※	—	—
2行	A		1×1倍 1×1倍	—	—
	B		1×1倍 2×2倍	—	—
	C		2×2倍 1×1倍	—	—
	D		2×2倍※ 2×2倍※	—	—
	E		1×1倍 3×3倍※	—	—
	F		3×3倍※ 1×1倍	—	—
3行	A		1×1倍 1×1倍 1×1倍	—	—
	B		1×1倍 1×1倍 2×2倍※	—	—
	C		1×1倍 2×2倍※ 1×1倍	—	—
	D		2×2倍※ 1×1倍 1×1倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。

重要

- 6mm幅、3.5mm幅のテープは行単位で大きさを決めることはできません。
- 4行以上の場合は、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

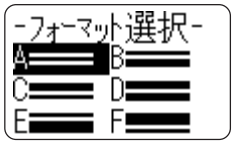
[例] 営業2課 西東京地区　1行目：1×1倍　2行目：3×3倍　（2行・フォーマットE　18mm幅テープ）

1 文字を入力します。

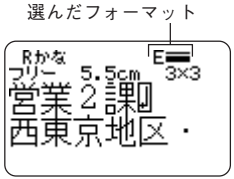
2 機能 を押し、指を離してから 印字サイズ 1 を押します。

3 ^ v を押して**印字倍率**を選び、実行 を押します。

4 ^ v を押して**行単位**を選び、実行 を押します。



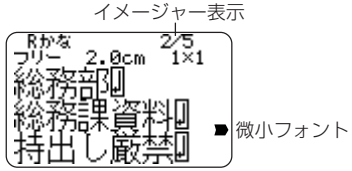
5 ^ v < > を押してフォーマットを選び、実行 を押します。



次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。
- 行数を変更したとき
- 文字単位で文字の大きさを指定したとき（50ページ）

微小フォントについて

- 行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります（85ページ）。
- このとき、画面右下の「▶ 微小フォント」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。



- イメージャー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順**3**（39ページ）をご覧ください。

- 微小フォントでは、次のようになります。
  - フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
  - プロポーショナルの設定は、無効です（OFFになります）。
  - 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
  - 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は114ページをご覧ください。

重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。

[印刷例]

（18mm幅テープ／フレーム番号=52）

1 文字を入力します。

2 フレーム印刷 を押します。

3 ∧ ∨ 〈 〉を押して使うフレームを選び、実行 を押します。
ここでは[■]を選びます。

4 〈 〉で 印刷 を選び、実行 を押します。

5 数字キー（または〈 〉）を押して印刷枚数を設定し∨を押します。
1～100枚まで設定できます。

6 〈 〉を押してカットモードを設定し実行 を押します。
印刷が開始されます。
- カットモードについて（64ページ）
- 書式で「斜め　する」と設定してあっても、フレームつき印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

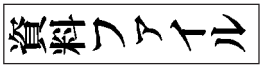
テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm幅	12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	6行以内	3行以内	2行以内	1行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（68ページの最初の画面）表示中に［縦書印刷］を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷



縦横同時印刷

縦書き（1枚目）、横書き（2枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、［縦書印刷］や［機能］［縦横同時印刷］［縦書印刷］は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（40ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 **文字を入力します。**

2 **［縦書印刷］を押します。**
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、［機能］を押し、指を離してから［縦横同時印刷］［縦書印刷］を押します。

3 **数字キー（または◁▷）を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。**
1～100枚まで設定できます。

- ブロック書式（40ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は［縦書印刷］で印刷すると、すべて縦書きになります。

4 **◁▷を押してカットモードを設定し、［実行］を押します。**
印刷が開始されます。

- カットモードについて（64ページ）

重要 印刷するときは、64ページの注意事項をご覧ください。

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。
また、レーザーバーコードを使って、レーザーバーコードシステムをコントロールできます。使用方法は、プレーヤーの取扱説明書などをご覧ください。

バーコードのタイプ

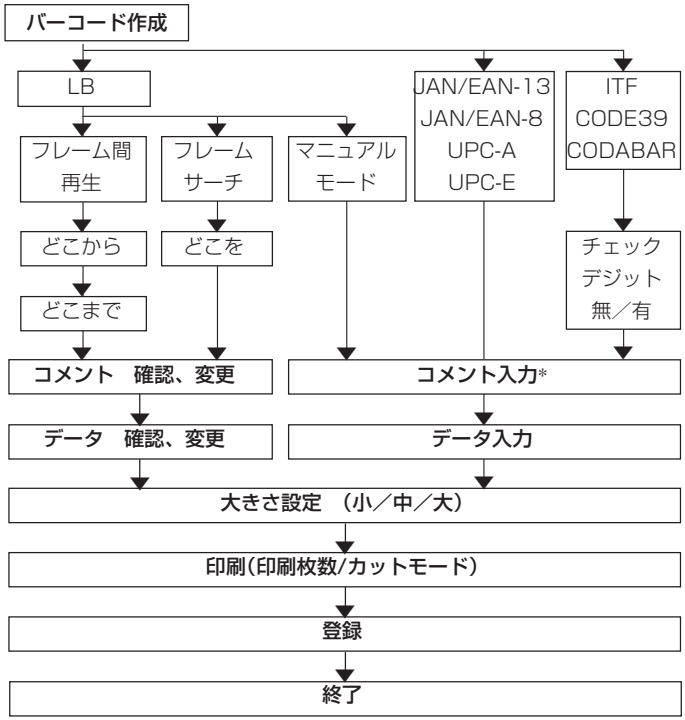
(1) EAN系
　　JAN-13(日本)/EAN-13(ヨーロッパ)
　　JAN-8(日本)/EAN-8(ヨーロッパ)
　　UPC-A(アメリカ)
　　UPC-E(アメリカ)
(2) ITF系
　　LB(レーザーバーコード)
　　ITF
(3) CODE39
(4) CODABAR(NW-7)

重要
- 12mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- バーコードの上部にコメントをつけることができます(60文字まで)。
- 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
　　印刷濃度を薄くする(98ページ)
　　大きく印刷する(57ページの操作9で設定)
　　カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする(64ページ)
- バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
　● 白テープに黒文字(WE)
　● 白テープに青文字(WEB)
　● 黄色テープに黒文字(YW)
　※(　)内はテープの型番です。

[印刷例]

(18mm幅のテープカートリッジを使用)

■バーコードラベル作成の流れ

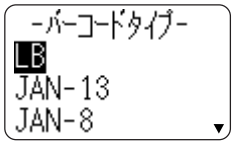


*コメントを入力しないときは、そのまま 実行 を押して次に進んでください。

1 ON を押して、電源を入れます。

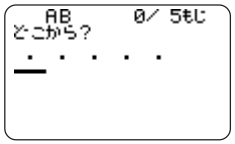
2 ◁▷を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 △▽◁▷を押して「バーコード」を選び、実行を押します。



4 △▽を押してバーコードのタイプを選び、実行を押します。
ここでは「LB」を選びます。

5 △▽でフレーム間再生を選び、実行を押します。
・バーコードタイプをITF、CODE39、CODABARとしたときは、ここでチェックデジットの有無を選びます。



6 フレーム(始点)の5桁の数字を入力し、実行を押します。

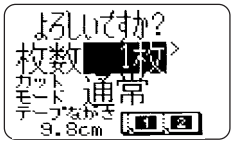
・操作**6**でフレームサーチを選んだときは、「**どこを？**」と表示されますので5桁の数字を入力します。そのあとは手順**8**に進みます。

7 フレーム(終点)の5桁の数字を入力し、実行を押します。

8 実行を2回押します。

9 ◁▷を押してバーコードラベルの大きさを選び、実行を押します。
ここでは「中」を選びます。
・大きくするほどテープの長さは長くなります。

10 ◁▷を押して印刷を選び、実行を押します。



11 数字キー(または◁▷)を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。
1～100枚まで設定できます。

12 ◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。
印刷が開始されます。

・カットモードについて(64ページ)
・ラベルデータを登録するときは(68ページ)

バーコードの仕様

バーコード		チェックデジット※1	印刷される桁数※3	入力する桁数※4	自動的につく桁数		入力文字種※11
						チェックデジット※1	
LB	フレーム間再生	有	14桁	5桁×2「どこから?」「どこまで?」	3桁※8	1桁	数字0～9
	フレームサーチ	有	10桁	5桁「どこを?」	4桁※9	1桁	
	マニュアルモード	有	4～20桁	3～19桁奇数のみ※5	—	1桁	
JAN-13 EAN-13		有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8		有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A		有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E		(有)※2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF		無	4～22桁	4～22桁偶数のみ※6	—	—	数字0～9
		有	4～22桁	3～21桁奇数のみ※7	—	1桁	
CODE39		無	4～22桁	2～20桁	2桁※10	—	数字0～9 アルファベットA～Z 記号「－」「.」「空白」「$」「/」「+」「%」
		有	4～22桁	1～19桁	2桁※10	1桁	
CODABAR (NW-7)		無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号「－」「$」「:」「/」「.」「+」 アルファベット(先頭、末尾のみ)※12 A～D
		有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	

※1　「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。LB・JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。

※2　UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

※3　バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数＋自動的につく文字数」となります。

※4　この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。

※5～7 LB・ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。

※5 LBのマニュアルモードで、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。レーザーバーコードのフォーマットに従って、もう一度入力し直してください。

※6 ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※7 ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※8　LBのフレーム間再生では、1桁目“2”・12桁目“1”・13桁目“3”が自動的に付きます。

※9　LBのフレームサーチでは、1桁目“2”・2桁目“0”・8桁目“1”・9桁目“3”が自動的に付きます。

※10　CODE39では、スタートコード(先頭)“＊”・ストップコード(末尾)“＊”が固定されます。

※11　この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

※12　CODABARでは、スタートコード(先頭)・ストップコード(末尾)は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QRコードラベルを作る

QRコードラベルを作ることができます。
QRコードとは、2次元バーコードの1種です。携帯電話に名前、電話番号、URLなどを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社NTTドコモの携帯電話(QRコードに対応した機種)で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QRコードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できるQRコードのタイプ

1 電話帳(NTTドコモ電話帳登録)

2 ブックマーク(NTTドコモブックマーク登録)

3 フリーテキスト

重要

- 18mm～24mm幅のテープカートリッジを使用してください。
- 本機で印刷するQRコードはモデル2に対応しています。モデル1には対応しておりません。
- 印刷したQRコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
  印刷濃度を薄くする(98ページ)
- QRコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - 白テープに黒文字(WE)
  - 白テープに青文字(WEB)

  ※ ( )内はテープの型番です。
- QRコードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。
- ラベルを縦書きにしても、QRコードは回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QRコード印刷時に清音と濁点、半濁点の2文字に変換されます。変換後の12文字までがQRコードに印刷されます。
  例：バ→ハ、゛　パ→ハ、゜
- 電話帳のフリガナ項目で「ヮ、ヰ、ヱ、ヵ、ヶ」は、QRコード印刷時に以下のように変換されます。
  「ワ、イ、エ、カ、ケ」
- 入力する文字列に「¥」「：」「；」「，」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように2文字に変換されてQRコードで印刷されます。
  - 電話帳のフリガナの項目
    「¥」 → 「¥¥」
    「：」 → 「¥：」
    「；」 → 「¥；」
    「，」 → 「¥，」
  - 電話帳のメールアドレスの項目
    「¥」 → 「¥¥」
    「：」 → 「¥：」
    「；」 → 「¥；」
  - ブックマークの項目
    「¥」 → 「¥¥」
    「：」 → 「¥：」
    「；」 → 「¥；」

  上記の制御文字の関係で「QRコード印刷の詳細仕様」(60ページ)の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字がQRコードで印刷されないことがあります。QRコードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

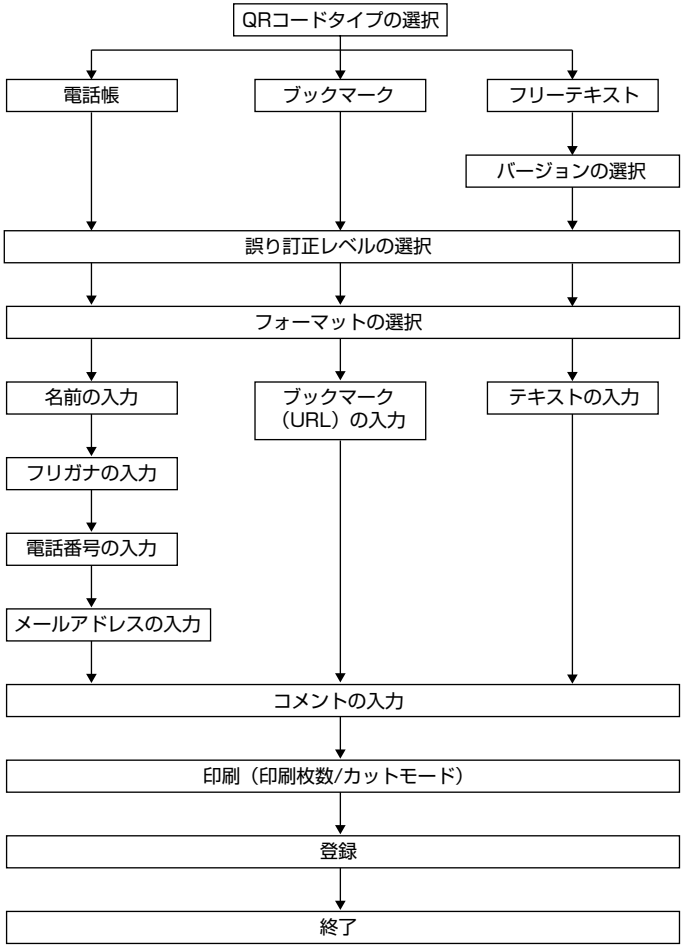
■QRコード印刷の詳細仕様

QRコードタイプ	項目	誤り訂正レベル	バージョン	文字数
電話帳	名前	LMQ共通	5	8(全角)
	フリガナ			12(全角)※1
	電話番号			15(半角)
	メールアドレス	L		40(半角)
		M		18(半角)
		Q		0(半角)※2
ブックマーク	ブックマーク	LM共通	5	64(半角)
		Q		49(半角)
フリーテキスト	テキスト	L	自動(1~5)	1~10(全角)
				11~20(全角)
				21~32(全角)
				33~48(全角)
				49~65(全角)
			1	10(全角)
			2	20(全角)
			3	32(全角)
			4	48(全角)
			5	65(全角)
		M	自動(1~5)	1~8(全角)
				9~16(全角)
				17~26(全角)
				27~38(全角)
				39~52(全角)
			1	8(全角)
			2	16(全角)
			3	26(全角)
			4	38(全角)
			5	52(全角)
		Q	自動(1~5)	1~7(全角)
				8~12(全角)
				13~20(全角)
				21~28(全角)
				29~37(全角)
			1	7(全角)
			2	12(全角)
			3	20(全角)
			4	28(全角)
			5	37(全角)

※1：QRコード出力時に半角に自動変換します。変更後の12文字までがQRコードに印刷されます。

※2：誤り訂正レベル「Q」を選んだときは、入力項目に「メールアドレス」がないため、「メールアドレス」を入力することはできません。

■QRコードラベル作成の流れ



・誤り訂正レベル「Q」を選んだときは、メールアドレスを入力できません。
・フォーマットの「3」を選ぶと、コメントを入力できます。
・選んだバージョンによりセル構成(セル数)が決められます。バージョンが大きいとセル数が多くなり、入力可能な文字が多くなります。バージョンが大きいとQRコードのサイズが大きくなります。
・QRコードラベル作成時(コメント入力時を除く)はQRコード専用記号(113ページ)を入力することができます。ただし、記号一覧(111ページ)の記号や、絵文字一覧の絵文字(112ページ)、外字(93ページ)を入力することはできません。
コメント入力時は通常どおり記号、絵文字、外字の入力ができます。
QRコードのデータ構成の関係で入力可能な文字を上記のように区別しております。
・QRコード専用記号は、以下の操作で入力します。
1.79ページ「その他の記号」の 1 の操作をします。
2.△▽◁▷で入力したい記号を選び、「実行」を押します。

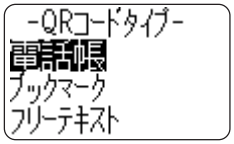
[例]

上記の印刷例に沿って操作を説明します。

1 **ON を押して、電源を入れます。**

2 **◁▷を押して「新規」を選び、実行を押します。**

3 **△▽◁▷を押して「QRコード」を選び、実行を押します。**



4 **△▽を押してQRコードのタイプを選び、実行を押します。**
ここでは「電話帳」を選びます。

5 **◁▷を押して誤り訂正レベルを選び、実行を押します。**
ここでは「M」を選びます。

L(7%)　：誤り訂正レベルをL(7%)に設定します。
M(15%)：誤り訂正レベルをM(15%)に設定します。
Q(25%)：誤り訂正レベルをQ(25%)に設定します。

・誤り訂正レベルのパーセンテージを大きくすると、QRコード読み取り時の精度が高くなります。ただし、QRコードに変換できる文字数が少なくなります。

6 **◁▷を押してフォーマットを選び、実行を押します。**
ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の 3 種類から選びます。
1：QRコードのみ印刷
2：QRコードと入力したデータを印刷
3：QRコードとコメントを印刷

7 名前を入力し、実行を押します。
ここでは「田中大介」を入力します。

8 自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、実行を押します。
ここでは「タナカダイスケ」と入力します。

9 電話番号を入力し、実行を押します。
ここでは「0009998888」と入力します。

10 メールアドレスを入力し、実行を押します。
ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

11 コメントを入力し、実行を押します。
ここでは「よろしく」と入力します。

12 ◁▷を押して印刷を選び、実行を押します。

13 数字キー(または◁▷)を押して印刷枚数を設定し、▽を押します。
1～100枚まで設定できます。

14 ◁▷を押してカットモードを設定し、実行を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて(64ページ)
- ラベルデータを登録する(68ページ)

伝言板を使う

入力した伝言メッセージを表示画面に繰り返し、表示させることができます。

重要
- 表示専用の機能です。印刷はできません。
- 伝言メッセージは1行のみです。32文字まで入力できます。
- 伝言メッセージが表示されている状態で電源OFFした後に、ONを押すと画面に「前回データ」が表示されます。「前回データ」を選んで実行を押すと、伝言メッセージを呼び出すことができます。
- ACアダプターを使っているときは、オートパワーオフ(節電)機能(17ページ)ははたらきません。電池を使っているときは、オートパワーオフ(節電)機能がはたらきます。

1 ON を押して、電源を入れます。

2 ◁▷を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 △▽◁▷を押して「伝言板」を選び、実行を押します。

4 **伝言メッセージを入力し、実行を押します。**
ここでは「午後3時までには戻ります」と入力します。

5 **◁▷を押して「表示」を選び、実行を押します。**
入力した伝言メッセージが表示されます。伝言メッセージは右から左に流れます。

- ◁▷を押すと伝言メッセージが流れる速度を3段階で調整できます。
- 「表示」の代わりに「登録」を選び、実行を押すと入力した伝言メッセージを本機に記憶させておいて、後で呼び出して使うことができます。登録・呼出・削除の操作手順については68ページをご参照ください。
- 伝言板を使い終わったときは、取消しを押した後、◁▷を押して「終了」を選び、実行を押します。

印刷とカットモード

印刷するときには以下の点に注意してください。
• 26ページ「ラベルを貼る」、「テープを空送りする」、「テープの余白を「送り無」にしたときは」をご参照の上、操作してください。

重要
- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（12ページ）
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」までさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消しを押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため"印刷準備中"と表示されて、印刷を一時停止することがあります。
  プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- "印刷準備中"の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。（98ページ）
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

カットモードについて

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

※下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

•布転写テープ •インスタントレタリングテープ	**特殊テープ**
•マグネットテープ •反射テープ	**カットしない**

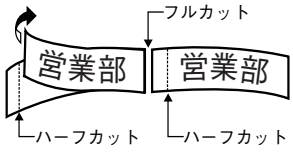
■カットのしかたについて

カットのしかたには2つあります。

●ハーフカット

台紙はカットせずに、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

※「テープ幅の細い3.5mmや6㎜テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。



●フルカット

台紙もシールもカットします。

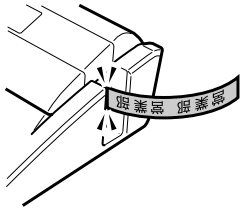
■4つのカットモード

カットモードには4つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順**4**（25ページ）で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」（67ページ）をご覧ください。
- 書式で「余白　送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。（26ページ）
- テープの長さが「余白小のときは、約28mm以下」、「余白中のときは、約35mm以下」、「余白大のときは、約45mm以下」の場合は、自動的にはフルカットやハーフカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

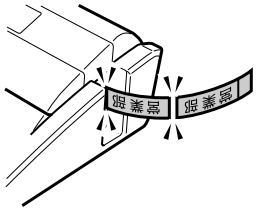
●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることがありません。
- 先頭には余白がつき、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



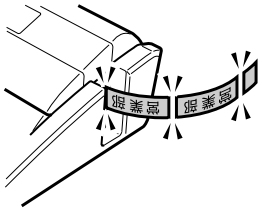
●切り離す

- ラベルごとにフルカットします。
  ※2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープづまりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白がつき、はがしやすいようにハーフカットされています。



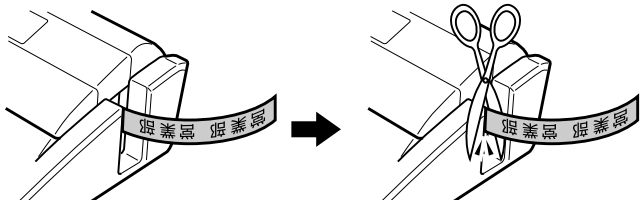
●特殊テープ

- 布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白　小」「余白　中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- テープをカットするための余白を入れずに印刷できるので、ラベルが節約できます。
- マグネット・反射テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、 機能 を押し、指を離してから テープ送り 8ゆ を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープとマグネットテープについて

反射テープとマグネットテープは特殊な処理をしてあるテープです。カットするときは、フルカット/ハーフカットを行わずに、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください。

なお、本機のフルカット/ハーフカットで反射テープやマグネットテープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

1 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする（43ページ）
　またはカットモードで「カットしない」にする
2 印刷する
3 機能 テープ送り 8ゆ と押して、テープ送りをする
4 反射テープまたはマグネットテープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
　※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットのタイミング ＼ 余白		先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット	先頭の余分な部分のカット	1枚終了ごとのラベルのカット	印刷終了時のラベルのカット
余白小	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	16.5㎜	3㎜	3㎜	16.5㎜※1 5㎜※2	3㎜	3㎜	21.5㎜	3㎜	3㎜	21.5㎜	3㎜	3㎜
余白中	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	9.5㎜	10㎜	10㎜	9.5㎜※1 5㎜※2	10㎜	10㎜	21.5㎜	10㎜	10㎜	21.5㎜	10㎜	10㎜
余白大	カット	ハーフカット	ハーフカット	フルカット	ハーフカット	フルカット	フルカット	無し	フルカット	フルカット	無し	無し	無し
	余白	5㎜	19.5㎜	19.5㎜	5㎜※1 5㎜※2	19.5㎜	19.5㎜	–	19.5㎜	19.5㎜	–	19.5㎜	19.5㎜
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※1：1枚目の印刷のとき

※2：2枚目以降の印刷のとき

作成したデータを登録する・呼び出す

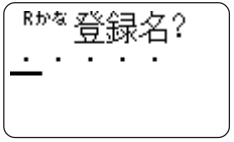
作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

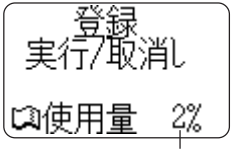
データに名前をつけて登録します。

文字の入力が終わるとこの画面になります

1 ◁▷を押して**登録**を選び、実行を押します。



2 **登録名を入力し、実行を押します。**
登録名は5文字まで入力できます。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 実行を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録名
記憶させるときは、データに名前(登録名)をつけます。これは、あとでデータの内容を呼び出すときに、名前で探すためです。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面(30ページの**1**の画面)から呼び出します。

1 ◁▷を押して「**登録データ**」を選び、実行を押します。

2 ◁▷を押して **呼出し**を選び、実行を押します。

登録名が表示されます

3 △▽を押して呼び出したいデータの登録名を探し、実行を押します。
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面(30ページの**1**の画面)から削除することができます。

1 ◁▷**を押して「登録データ」を選び、** 実行 **を押します。**

2 ◁▷**を押して** 削除 **を選び、** 実行 **を押します。**

3 △▽**を押して削除したいデータの登録名を探し、** 実行 **を押します。**

「よろしいですか？」と表示されます。

4 実行 **を押します。**

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。
  引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作から抜け出すときは 取消し を押します。

MEMO

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。

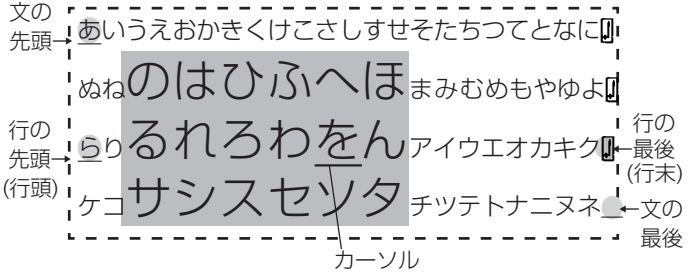
カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している▁を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。

■カーソルの動かしかた

カーソルは▲▼◀▶を押して動かします。



◀	左にカーソルが移動する	▶	右にカーソルが移動する
▲	上にカーソルが移動する	▼	下にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから 行頭 ◀ を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから 行末 ▶ を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ▲ を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能 を押し、指を離してから ▼ を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベル以外では無効となります。

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、◀▶を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
(◀▶を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力？それともかな入力？

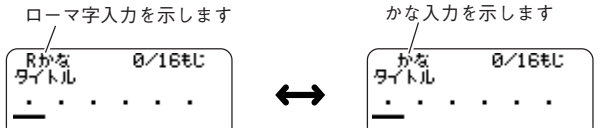
キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- **ローマ字入力とは…**
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- **かな入力とは…**
  直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能を押し、指を離してからあア（ローマ字/かな）を押す



- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まずあア（ローマ字/かな）を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

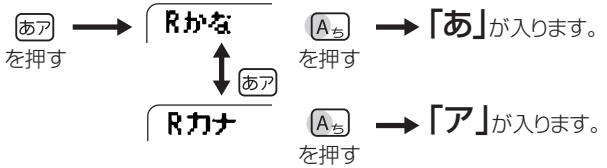
1 機能を押し、指を離してから6（設定）を押します。
2 ∧∨を押して「入力設定」を選び、実行を押します。
3 ∧∨<>を押して「かな」または「ローマ字」を選び、実行を押します。

入力する文字の切り替え方法

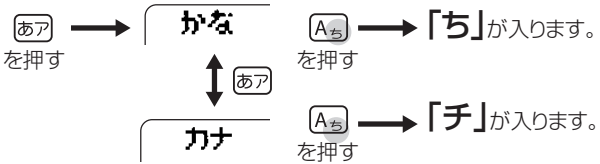
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
あアやaAを押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。
ここではA（た）を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

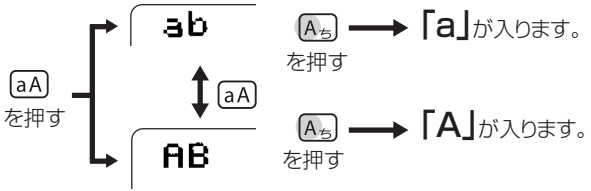
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット(大文字・小文字)の入力



ひらがな・カタカナの入力

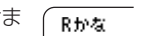
ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

［例］ さくら

1 あア を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

・かな入力のときは、「かな」を表示させます。(72ページ)



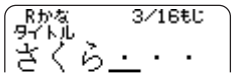
2 Sと Aち Kの Uな Rす Aち と押します。

・かな入力のときは、Xさ Hく Oら と押します。

ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 無変換 または 実行 を押します。

「さくら」が確定します。



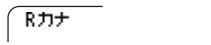
・「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

［例］ サクラ

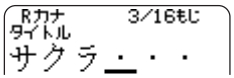
1 あア を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

・かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(72ページ)



2 Sと Aち Kの Uな Rす Aち と押します。

・かな入力のときは、Xさ Hく Oら と押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

①ひらがなで「さくら」と入力します。

②さくらとなっているときに、機能 を押し、指を離してから 無変換 を押します。

カタカナ変換

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I に T か T か A ち	E い シフト Z っ Q た*
拗音	きょう	K の Y ん O ら U な	G ぎ シフト 9 ょ 4 $ う*
濁音	ぼく	B こ O ら K の U な	- ほ @ ゛ H く
半濁音	ぱぱ	P せ A ち P せ A ち	F は [゜ F は [゜
句点	。	. る	シフト . る
読点	、	, ね	シフト , ね
長音	ー	¥ ?	¥ ?
中点	・	シフト / め	シフト / め
を		W て O ら	シフト 0 を わ
ん		N み N み	Y ん
ヴ		「Rカナ」表示のときに V ひ U な	「カナ」表示のときに 4 $ う @ ゛
カ		X さ K の A ち または K の シフト A ち	シフト T か
ケ		X さ K の E い または K の シフト E い	シフト : * け
空　白		空白	空白

＊シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「つゃゅょぁぃぅ」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(109ページ)をご覧ください。
- ,(カンマ) .(ピリオド)の入力方法については、77ページをご覧ください。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例：「花」→「はな」)。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、実行を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

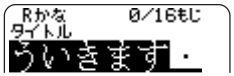
- **文章を入力してから変換する**
- **同音異義語を変換する**(例：公園、後援など)
- **漢字１文字分ずつ変換する**(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

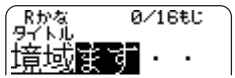
[例]　今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



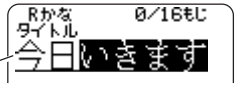
2 変換を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



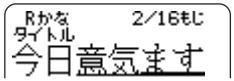
「境域」に下線がついています

3 ◁を2回押します。
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

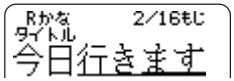


4 実行を押します。
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます

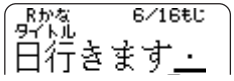
5 ▷を2回押します。
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 変換を何回か押して、「行きます」にします。
変換を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、実行を押します。
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い
カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

・下線がついているときに取消しを押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう → 今日（変換） → きょう（取消し）

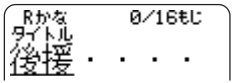
「よみ」を入れて変換を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。（76ページ）

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」（同音異義語）を変換する方法を説明します。

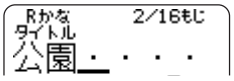
［例］ 公園

1 「こうえん」と入力し、変換を押します。
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。



2 変換を何回か押して、「公園」にします。
変換を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

3 「公園」になったら、実行を押します。
「公園」が確定されます。

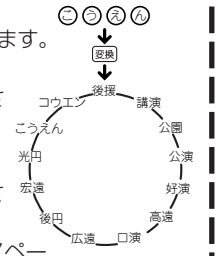


変換のルール
まず変換を押して、ひらがなを漢字に変換します。

変換または▽を押すと、次の漢字が表示されます。

機能を押し、指を離してから変換（前候補）を押す、または△を押すと、1つ前の漢字が表示されます（前候補）。

※変換候補の順番は、本機の「学習機能」（77ページ）によって変わります。

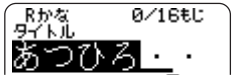


漢字１文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

［例］ 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。



2 変換 を何回か押します。
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 単漢字 を押します。

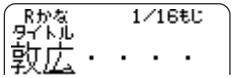
- もう一度 単漢字 を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度 単漢字 を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 ^ v < > を押して、敦 にします。

5 実行 を押します。

「敦」が確定されます。



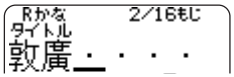
「広」に下線がつきます

6 変換 を何回か押して、「廣」にします。

- 単漢字 を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、実行 を押します。

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

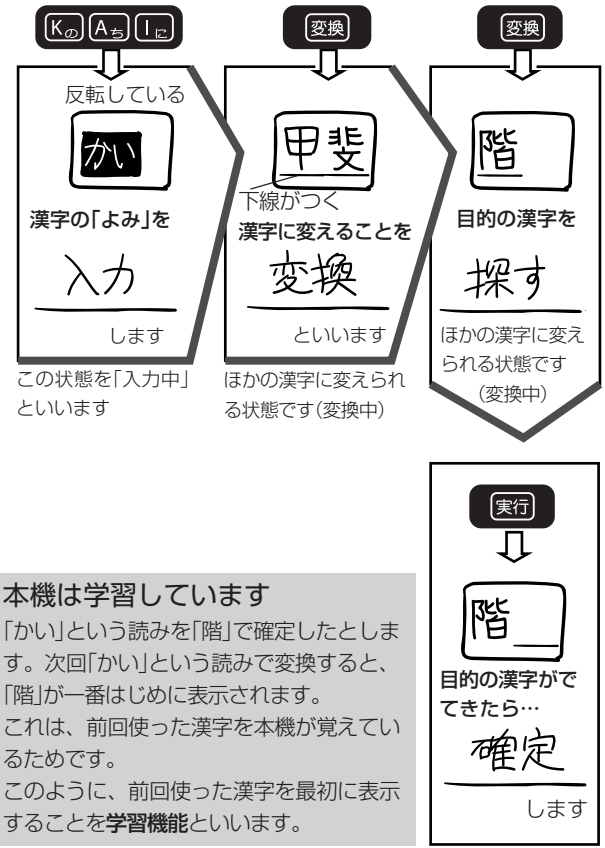
次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

まとめ…



本機は学習しています

「かい」という読みを「階」で確定したとします。次回「かい」という読みで変換すると、「階」が一番はじめに表示されます。
これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。
このように、前回使った漢字を最初に表示することを**学習機能**といいます。

アルファベットや数字の入力

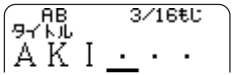
アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベット(大文字)の入力

［例］ ＡＫＩ

1 aA **を何回か押して、画面の左上に「ＡＢ」を表示させます。**

2 Aち Kの Iに **と押します。**
アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



- **カンマ(，) ピリオド(．)を入力するには**
  画面の左上に「ＡＢ」または「ａｂ」と表示されているときに、次のキーを押します。
  カンマ： <く ね **ピリオド：** >る
- **大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには**
  「ＡＢ」表示のとき ･･･ シフト を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります
  例 TAKESHI's
  「ａｂ」表示のとき ･･･ シフト を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。
  例 English
- ひらがなを入力するときは、あア を何回か押して、画面の左上に「Ｒかな」(または「かな」)を表示させます。

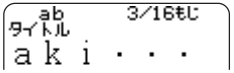
アルファベット(小文字)の入力

［例］ａｋｉ

1 aA を何回か押して、画面の左上に「ａｂ」を表示させます。

2 A ち K の I に と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



数字の入力

［例］ １２３

■ローマ字入力のとき

1 1 ぬ 2 ふ 3 あ と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

■かな入力のとき

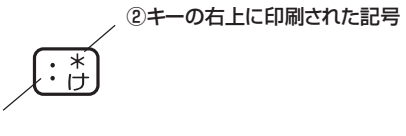
1 aA を押して、画面の左上に「ａｂ」または「ＡＢ」を表示させます。

2 1 ぬ 2 ふ 3 あ と押します。

記号の入力

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号

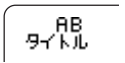


■ローマ字入力の場合

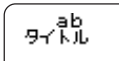
① ：＊ け を押すと ⟶ 「：」が入ります。

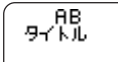
② シフト を押し、指を離してから ：＊ け を押すと ⟶ 「＊」が入ります。

■かな入力の場合

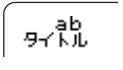
① aA ⟶  ：＊ け を押すと ⟶ 「：」が入ります。

または



② aA ⟶  シフト を押し、指を離してから ：＊ け を押すと ⟶ 「＊」が入ります。

または



その他の記号

㍍ ♂ ㊟ ☜ ⑫ など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」の6つのグループに分かれています。111～112ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

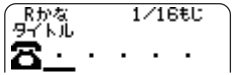
[例] ☎ （グループ＝単位･略）

1 機能 を押し、指を離してから 3 を押します。

記号のグループ名

2 ▲▼◀▶を押して**単位**にし、実行 を押します。

3 ▲▼◀▶を押して☎にし、実行 を押します。



絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。
112～113ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

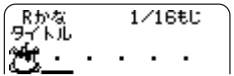
[例] （グループ＝食べ物）

1 機能 を押し、指を離してから 4 を押します。

絵文字のグループ名

2 ▲▼◀▶を押して**食べ物**にし、実行 を押します。

3 ▲▼◀▶を押してにし、実行 を押します。



文字を修正・削除するときは

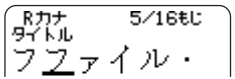
文字を間違えて入力したときのなおしかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す（カーソルの上の文字を消す）

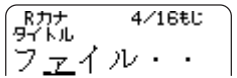
［例］「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」になおす

1 ◁▷を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 文字削除を押します。

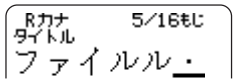
「ファイル」になります。



■文字を1文字ずつ消す（カーソルの前の文字を消す）

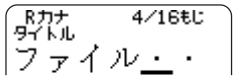
［例］「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」になおす

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 後退を押します。

「ファイル」になります。



確定前に文字を消すには…

ふふぁいるなど、文字に［　　］が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、文字削除または後退を押して消します。
また、取消しを押すと、［　　］が重なっている文字がぜんぶ消えます。

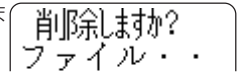
確定➔77ページ

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 機能 を押し、指を離してから 文字削除（文削除） を押します。

- 文削除をやめるときは、取消し を押します。
- フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで 実行 を押します。



2 実行 を押します。

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

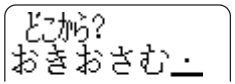
消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

［例］　「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 機能 を押し、指を離してから 文字削除（文削除） を押します。

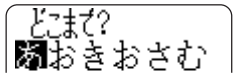
2 ∧∨ を押して**部分削除**を選び、実行 を押します。

操作をやめるときは取消し を押します。



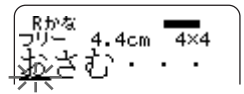
3 ＜＞ を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、実行 を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。



4 ＜＞ を押して消したい部分の最後の文字を指定し、実行 を押します。

ここでは**あおき**にします。

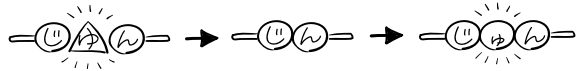


間違った文字をなおす

間違った文字をなおす方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿　入

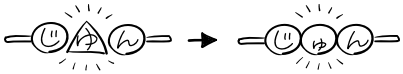
文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。



間違った文字を消してから正しい文字を入力します（その逆でも可）。

上書き

画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。



間違った文字の上に正しい文字を入力します。

■「上書き」にするとき

シフトを押し、指を離してからあアを押します。

<挿　入>　　<上書き>

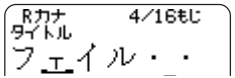
反転します

もう一度シフトを押し、指を離してからあアを押すと、「挿入」状態に戻ります。

［例］「フェイル」を「ファイル」になおす

■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

1 ◁▷を押して「ェ」にカーソルを合わせます。

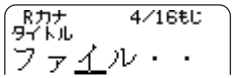


2 文字削除を押します。

「ェ」が削除され、「イ」が「ェ」の位置に移動します。

3 「ァ」を入力します。

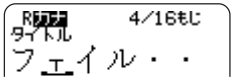
・「ァ」はシフトを押し、指を離してからA→を押して入力します。



「ァ」が「イ」の前に入力されます

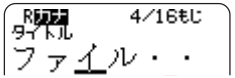
■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

1 ◁▷を押して「ェ」にカーソルを合わせます。



2 「ァ」を入力します。

「ェ」が「ァ」になります



「設定」で切り換えるには

1　機能を押し、指を離してから6 あお 設定を押します。

2　△▽を押して「入力設定」を選び、実行を押します。

3　◁▷を押して「上書き」または「挿入」を選び、実行を押します。

文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

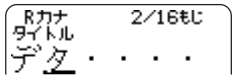
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(81ページ)

[例]　「デタ」を「データ」にする

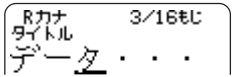
1 **〈〉を押して、「タ」にカーソルを合わせます。**

「タ」の前に文字を入力するためです。



2 **「ー」(長音)を入力します。**

「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になります



確定前に文字をなおしたり追加するには…

ふぇいるなど、文字に[redacted]が重なっているとき(確定前)に文字をなおしたり追加するときも上と同じ操作でなおします。

確定➡77ページ

「上書き」で文字をなおすときは

なおす文字数に注意してください。なおす文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文3書体・欧文7書体の中から選ぶことができます。
また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
亜あ	亜あ	亜あ

■欧文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
AB12	AB12	AB12
ステンシル	ポップ	
AB12	AB12	
ボールドスクリプト	ブラックレター	
AB12	AB12	

- メモリーリセット後は、「和文：明朝体」「欧文：明朝体」に設定されています。

・欧文書体は、次の文字が指定の対象になります。
・アルファベット(A～Z　a～z)
・数字(１２３４５６７８９０)
・記号の一部(，．？！ー～(　)￥%スペース)

入力済みの文字の書体を変える

［例］ヒーリング*MUSIC*集

(「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスクリプトにする)

1 文字を入力します。

2 書式 フォント を押します。

3 ∧∨を押して角ゴシックを選び、実行を押します。

(和文の書体の種類を選びます。)

4 ∧∨を押してAボールドスクリプトを選び、実行を押します。

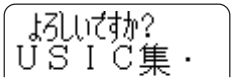
(欧文の書体の種類を選びます。)

5 ∧∨〈〉を押して設定の範囲を選び、実行を押します。

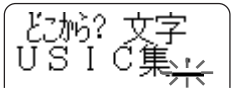
・全文：フォーマット単位で設定されます。
・ブロック：ブロック単位で設定されます。
・行：項目単位で設定されます。
・文字：文字単位で設定されます。

※フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

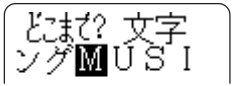
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、実行を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順**6**、**7**で範囲を指定します。

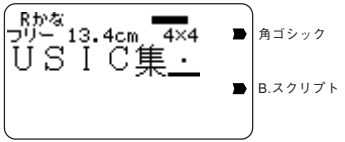


6 〈〉を押して書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。



7 〈〉を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 機能 を押し、指を離してから 6 を押します。

2 ∧ ∨ を押して**初期フォント**にし、実行 を押します。

3 ∧ ∨ を押して和文フォントを選び、実行 を押します。

4 ∧ ∨ を押して欧文フォントを選び、実行 を押します。

5 OFF を押して一度電源を切り、再び ON を押して電源を入れます。

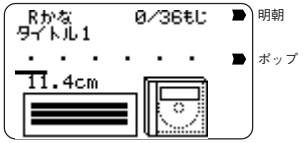
6 **文字入力の画面を表示させます。**

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

●「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について

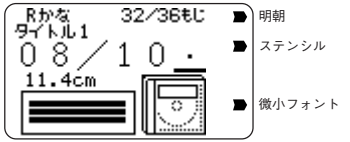
- 入力中の文字の書体を■で示します。



- 欧文書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

微小フォントについて

印刷するときは行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右下に「微小フォント」の■が点灯します。



●微小フォントには、次のような特徴があります。

- フォントの設定は無効です。(すべて同じフォントで印刷されます)
- プロポーショナルの設定は無効です(OFFになります)。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を上付・下付にする

文字を1/4の大きさにして、上に寄せたり（上付）下に寄せたり（下付）することができます。

上付　議事録※1

下付　167センチ

※「拡大」では、上付、下付には変更できません。

重要 ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

[例] 167センチ　（下付）

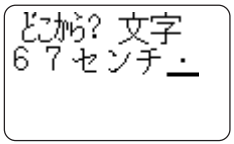
1 文字を入力します。

2 機能 を押し、指を離してから 印字サイズ 1 を押します。
フリーラベル以外では手順4に進みます。

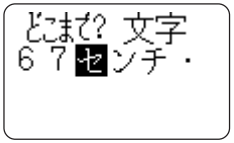
3 ^ v を押して、1/4角を選び、実行 を押します。

4 ^ v < > を押して □下付 を選び、実行 を押します。
フリーラベル以外では手順6に進みます。

5 ^ v < > を押して文字を選び、実行 を押します。
- 全文：すべての文字を上付・下付にするとき
- ブロック：ブロック単位で上付・下付にするとき
- 行：行単位で上付・下付にするとき
- 文字：文字単位で上付・下付にするとき

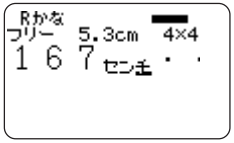


6 < > を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、実行 を押します。



7 < > を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、実行 を押します。

指定した文字が1／4の大きさになり、下に寄せられます。



・文字を元に戻すときは、手順4で「□全角」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。
※絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

1 **文字を入力します。**

2 **機能を押し、指を離してから※前 2ABC を押します。**

- 「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順**4**に進みます。

3 **△▽を押して文字体を選び、実行を押します。**

4 **△▽◁▷を押して文字体の種類を選び、実行を押します。**

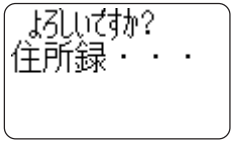
- A標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

5 **△▽◁▷を押して設定の範囲を選び、実行を押します。**

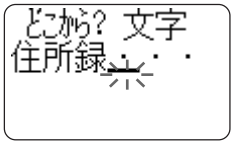
- 全文：フォーマット単位で設定されます。
- ブロック：ブロック単位で設定されます。
- 行：項目単位で設定されます。
- 文字：文字単位で設定されます。

※フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

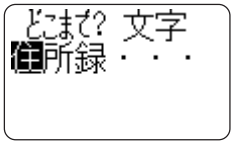
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、実行を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順**6**、**7**で範囲を指定します。



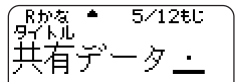
6 **◁▷を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**



7 ◁▷を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

・設定後、文字入力の画面に戻ります。

AAAA



画面上の「**A**」(太字)・「**A**」(白抜)・「**A**」(影付)・「**A**」(立体)に▲がつきます。
標準の場合は何もつきません。

文字に飾りをつける

フリーラベルでは、文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。
また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠をつけることができます。

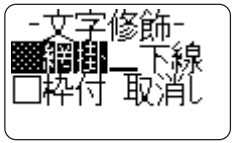
網　掛	下　線	枠付(文字)	枠付(詳細)
修飾	修飾	修飾	修飾

文字修飾を指定する

1 文字を入力します。

2 機能を押し、指を離してから 2 ふ(基数) を押します。

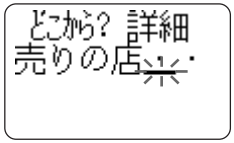
3 △▽を押して**文字修飾**を選び、実行を押します。



4 △▽◁▷を押して文字修飾の種類を選び、実行を押します。

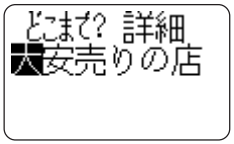
・**取消し**を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。

5 ^v<>を押して文字修飾する部分を指定し、実行を押します。



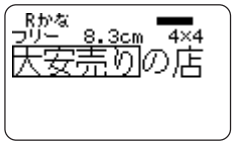
- 詳細：文字のかたまりに指定するとき
  例 大安売りの店
- ブロック：ブロック単位で指定するとき
- 行：行単位で指定するとき
- 文字：1文字ずつ指定するとき
  例 大安売りの店

6 <>を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。



7 <>を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねてつけることもできます。1つの飾りをつけたあとに、別の飾りを重ねてつけます。

特売
網掛＋枠付(詳細)

特売
網掛＋下線

特売
網掛＋下線＋枠付(文字)

※文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

1 機能を押し、指を離してから2 ふを押します。

2 ^vを押して文字修飾を選び、実行を押します。

3 ^v<>を押して 取消し にし、実行を押します。

一部の文字修飾を取り消したいときは、^v<>を押して取り消したい文字修飾を選び、実行を押します。

4 ^v<>を押して文字にし、実行を押します。

5 <>を押して、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

6 <>を押して、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。

一部の文字修飾を取り消したいときは、ここで実行の代わりに文字削除を押します。

よく使う語句を登録する/呼び出す（プリセットタイトル）

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。

・QRコード機能では、コメント入力以外でプリセットタイトルをお使いになれません。

- 最大49文字の語句を9種類まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の8種類の語句が登録されています（1種類は未登録）。修正や書き換えが可能です。

1. 保存資料
2. BACKUP　DATA　　作成日　　月　　日
3. デジタルアルバム
4. 撮影日　　月　　日
5. BEST　ALBUM
6. オムニバス
7. http：／／
8. E−mail：
9. （未登録）

プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

1 プリセットタイトルを押します。

登録されている語句が表示されます。

2 ▲▼を押して、挿入したい語句を選び、実行を押します。

・「1」～「9」の数字キーでも呼び出すことができます。

新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

1 プリセットタイトルを押します。

2 ▲▼を押して[タイトル編集]を選び、実行を押します。

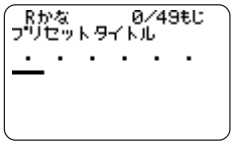
3 ◀▶を押して作成を選び、実行を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順4の画面が表示されます。

4 ◀▶を押して語句の作りかたを選び、実行を押します。

新規と参照から選びます。

- 新規作成…最初から文字を入力して作ります。
- 参照作成…入力中の文字をベースに作ります。



5 文字を入力し、実行を押します。

参照を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して実行を押してください。

- 記号、絵文字、外字も使うことができます。
- 書体、文字体、書式を指定することはできません。

6 ^ v を押して登録する場所を選びます。

「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。

7 実行 を押すと、「よろしいですか？」と表示されるので、よければ 実行 を押します。

・別の場所に登録したいときは、 取消し を押します。

これで登録は完了です。

参照作成のときには
- 参照した内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4角の文字は全角に置き換わります。
- 入力中の文字が49文字以上ある場合には、先頭から49文字分が参照できます。

プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 プリセットタイトル を押します。

2 ^ v を押して**[タイトル編集]**を選び、 実行 を押します。

3 < > を押して**修正**を選び、 実行 を押します。

4 ^ v を押して修正する語句を選び、 実行 を押します。

5 語句を修正し、 実行 を押します。

6 ^ v を押して登録する場所を選び、 実行 を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

・別の場所に登録したいときは、 取消し を押します。

7 実行 を押します。
これで修正は完了です。

プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

1 プリセットタイトル を押します。

2 ^ v を押して**[タイトル編集]**を選び、 実行 を押します。

3 < > を押して**削除**を選び、 実行 を押します。

4 ^ v を押して削除する語句を選び、 実行 を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。
・別の語句を削除したいときは、 取消し を押します。

5 実行 を押します。
削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。

入力した文字をコピーする・貼りつける（コピー・ペースト）

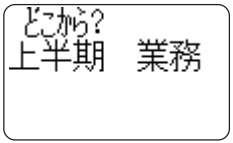
文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。

・QRコード機能では、コメント入力以外でコピー・ペーストをお使いになれません。

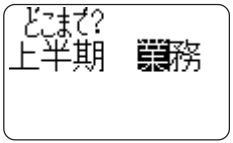
文字をコピーする

1 文字を入力します。

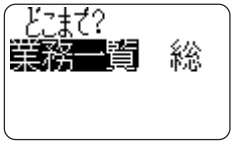
2 機能を押し、指を離してから 9よ（コピー）を押します。



3 ^v<>を押して、コピーをする最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。



4 ^v<>を押して、コピーをする最後の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。



・「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

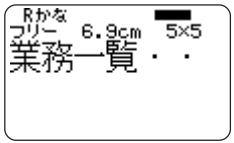
・コピーは1個だけ取り込むことができます。新たな文字列をコピーすると、以前コピーした文字列は消去されます。

コピーした文字を貼りつける(ペースト)

1 **文字入力画面で[機能]を押し、指を離してから[0 ペースト]を押します。**
- 画面に文字が入力されていないときは、1の操作をすると文字が貼付けられます。この場合、2の操作は不要です。

2 **[∧][∨][<][>]を押して、文字を貼りつける場所にカーソルを合わせ、[実行]を押します。**

指定した場所に文字が貼り付けられます。



- 項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー　ペーストできなかった文字があります」と表示されます。
- 書体、文字体、文字修飾は貼り付けた位置の指定に従います。
- 文字は「挿入」(81ページ)で貼り付けられます。「上書き」に設定されているときも「挿入」で貼り付けられます。
- コピーした文字に倍率マーク、改行マーク、ブロックマークがある場合、フリーラベル以外のラベルに貼り付けたときは、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが削除された状態で貼り付けられます。
- 拡大印刷など上付、下付で入力ができない状態で貼り付けたときは、コピーした上付、下付の文字は全角に置き換わります。

オリジナルの文字(外字)を作る

Ⓐや図などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます(**外字**)。4つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の2つがあります。
- **はじめから自分で作る(新規作成)**
  …まったくオリジナルな外字を作るとき
- **本機の中にある文字を利用して作る(参照作成)**
  …ⒶやⒶのように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る(新規作成)

[例]

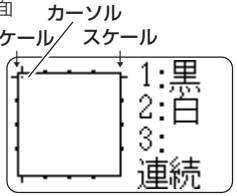
1 **[機能]を押し、指を離してから[5 ふきそ]を押します。**

2 **[∧][∨][<][>]を押して作成を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]を押して新規作成を選び、[実行]を押します。**
- 1の手順で画面に何も文字がなかったり、カーソルの位置に文字がなかった場合は、外字作成画面(手順4の画面)になります。そのまま手順5からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

・外字作成画面



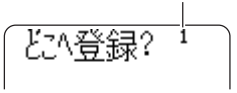
カーソルを移動させるときは	^ v < >を押してカーソルを移動します。
点を１つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、1(黒)を押します。
点を１つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、2(白)を押します。
線を描くときは	1(黒)を押し、指を離してから3(連続)と押し、黒 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2(白)を押し、指を離してから3(連続)と押し、白 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

・斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、１つの点ごとに行ってください。

・外字作成画面で[1](黒)または[2](白)のどちらかが指定されているときは、[3](連続)を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、機能 <、機能 >でカーソルを画面の左右の端へ、機能 ^、機能 vでカーソルを上下端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、実行を押します。



6 ^ v < >を押して登録する場所を番号で選び、実行を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

・すでに外字が登録されている番号を選ぶと、その外字が表示されます。
登録されている外字を消していい場合はそのまま実行を押します。消したくない場合は、取消しを押して、登録番号を選び直します。

7 実行を押します。

本機にある文字を利用して作る(参照作成)

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。(記号→111ページ、絵文字→112ページ)

[例] 高 → 髙

1 「高」を入力します。

2 < >を押して、「高」にカーソルを合わせます。

3 機能を押し、指を離してから5(ふぞえ)を押します。

4 ^ v < >を押して作成を選び、実行を押します。

5 ^ v を押して **参照作成** を選び、実行 を押します。

外字作成画面に「高」が表示されます。

6 94ページ「はじめから自分で作る（新規作成）」の手順4からの操作を行ない、外字を作成し、登録します。

すでに作ってある外字を修正する

1 機能 を押し、指を離してから 外字 5%え を押します。

2 ^ v < > を押して **修正** を選び、実行 を押します。

3 ^ v < > を押して修正する外字を選び、実行 を押します。
外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

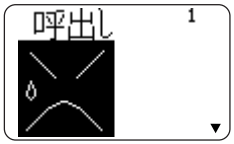
4 94ページ「はじめから自分で作る（新規作成）」の手順4からの操作を行ない、外字を修正し、登録します。

外字を使う

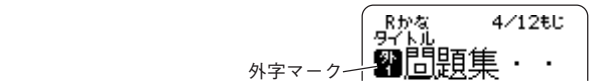
1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 機能 を押し、指を離してから 外字 5%え を押します。

3 ^ v < > を押して **呼出し** を選び、実行 を押します。



4 ^ v < > を押して呼び出す外字を選び、実行 を押します。



外字マーク
外字が入力されていることを示します

- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

1 機能 を押し、指を離してから 外字 5%え を押します。

2 ^ v < > を押して **削除** を選び、実行 を押します。

3 ^ v < > を押して削除する外字を選び、実行 を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

4 実行 を押します。
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

MEMO

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に[機能]を押し、指を離してから[設定 6 &お]を押すと、右の画面が表示されます。

▲▼で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力設定	挿入/上書き	文字の入力方法を決める	81
	ローマ字入力/かな入力	日本語の入力方法を決める	72
	ブザー音　ON/OFF	ブザー音を鳴らす/鳴らさないを決める	97
輝度調整		画面の濃淡を調整する	97
印刷濃度		印刷の濃さを調整する	98
初期フォント		入力文字の最初の書体を決める	83
デモ印刷		いろいろな機能を使って作成したラベルの印刷例を印刷します。	98

ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[設定 6 &お]を押します。**

2 **▲▼を押して入力設定を選び、[実行]を押します。**

3 **▲▼◀▶を押してブザーOFFを選び、[実行]を押します。**

・ブザー音を鳴らしたいときは、ブザーONにします。

画面の明るさを変えたい

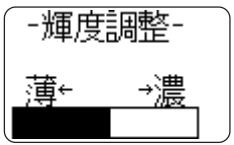
画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

1 **[機能]を押し、指を離してから[設定 6 &お]を押します。**

2 **▲▼を押して輝度調整を選び[実行]を押します。**

3 **◀▶を押して明るさを調整し、[実行]を押します。**

◀を押すごとに薄く、▶を押すごとに濃くなります。



印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 機能 を押し、指を離してから 6 を押します。

2 ∧ ∨ を押して**印刷濃度**を選び、実行 を押します。

3 〈 〉を押して濃さを設定し、実行 を押します。

1 にすると1番薄く印刷され、5 にすると1番濃く印刷されます。

・印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 **デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。(データの登録→68ページ)**

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。

・テープカートリッジについて→19ページ

2 電源が入っているときは OFF を押して電源を切ります。

3 ON を押して電源を入れます。

4 機能 を押し、指を離してから 6 を押します。

5 ∧ ∨ を押して**デモ印刷**を選び、実行 を押します。

6 〈 〉を押して**印刷**を選び、実行 を押します。

7 「枚数　1枚」「カットモード　通常」になっていることを確認します。

・印刷枚数やカットモードを変更することもできます。(64ページ)
・特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(64ページ)

8 実行 を押します。

・印刷が始まります。
・デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まることがありますが、故障ではありません。
・セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 **印刷が終了したら〈〉〉を押して終了を選び、実行を押します。**

「終了しますか？」と表示されます。

10 **実行を押します。**

MEMO

付　録

電源について

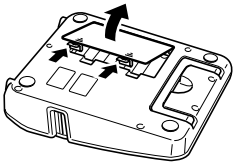
本機を使うときは、電源として同梱のACアダプターのほかに、市販のアルカリ乾電池を使うことができます。

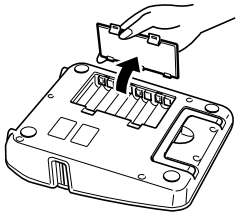
乾電池で使う

市販の単3形アルカリ乾電池を8本使用します。（必ずアルカリ乾電池をご使用ください。）

1 **本体裏側の乾電池カバーを取り外します。**

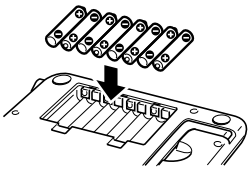
乾電池カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。



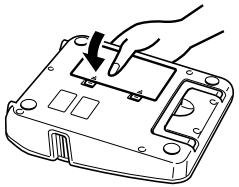


2 **乾電池をセットします。**

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 **乾電池カバーを取り付けます。**



重要
- アルカリ電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源がOFFになることがあります。同梱のACアダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境でご使用ください。
- 松下電池工業製オキシライド乾電池ZR6Yを使用して印刷しているときは、電池消耗の警告メッセージが出る前に本機の電源が切れることがあります。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約2巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷したり、低温下で使用した場合は、電池寿命は短くなります。
- 長期間ご使用にならない場合は、アルカリ乾電池を取り外して保管してください。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルにきれいに印刷されません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする

重要

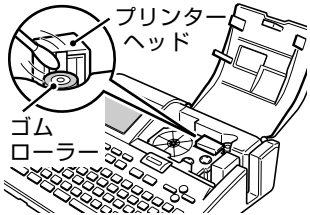
- プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。



- ゴムローラーは、機能を押し、指を離してから8(テープ送り ゆ)を押すと回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-24CLE)を使うこともできます。

1 **収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。**

・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **ON を押して電源を入れます。**

4 **機能 を押し、指を離してから 8 (テープ送り) を押して、「テープ送り」を1～2回行います。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ON を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(97ページ)
	ACアダプターがきちんと接続されていない	ACアダプターを正しく接続してください。(15ページ)
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットしなおしてください。(101ページ)
●正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
	パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした	正しいデータを取り込み直してください。
	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている	クリーニングを行ってください。(102ページ)
	乾電池が消耗している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を調節してください。(98ページ)
●印刷されない	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
●印刷中に電源が切れる	乾電池が消耗している。または指定以外の乾電池を使用している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。
●文字が入力できない	機能を押した状態になっている	取消しを押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あア aAを押して変更してください。(72ページ)
●パソコンとつながらない	USBリンクを押していない	USBリンクを押してパソコンと接続できる状態にしてください。
	USBケーブルが正しく接続されていない	正しく接続し直してください。
	電源を入れていない	ONを押して、電源を入れてください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●パソコンとつながらない	接続用ソフト(ドライバー)がパソコンにインストールされていない	パソコンに接続用ソフトをインストールしてください。(別紙の「はじめにお読みください」参照)
	プリンタードライバーが正常にインストールされた状態でも、通信ができない	パソコンのUSBポートを別のポートに差し替える。USBケーブルを別のケーブルに交換する。
●印刷プレビューなどの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。
●印刷を押してもテープが出てこない	テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかり閉めてください。(12ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(19ページ)
	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットしなおします。(19ページ) 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 ・テープ出口をふさぐ ・出てくるテープにさわる ・テープカートリッジ収納部のカバーをあける ・電源を切る

症状	考えられる原因	ご確認ください
●(印刷)を押してもテープが出てこない	乾電池が消耗している	同梱のACアダプターをご使用になるか、新しい単3形アルカリ乾電池(別売)と交換してください。(101ページ)
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットしなおしてください。(19ページ) 重要 ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 ・インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(137ページ)
	テープ出口にテープがつまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定しなおしてください。(43ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットしない」以外に設定してください。(64ページ)
	ラベルの長さが短い(余白小で約28mm以下 / 余白中で約35mm以下 / 余白大で約45mm以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●ハーフカットができない	ハーフカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。(137ページ)
	カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している	カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(64ページ)
	マグネットテープを使用している	マグネットテープはハーフカットされません。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。 重要 マグネットテープ、反射テープは、カットモードを「カットしない」にして印刷してください。(66ページ)
	ラベルの長さが短い(余白小で約28mm以下 / 余白中で約35mm以下 / 余白大で約45mm以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(26ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。(26ページ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 (印刷中に表示され、印刷が止まっている)	• くりかえして印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 ➜そのままの状態で、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。	−
	※上記の対処を行っても「印刷準備中」のままで、まったく印刷できないような場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	137
同じ登録名があります	• 入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 ➜登録名を入力し直してください。	68
桁数が奇数(偶数)です	• バーコード印刷(LB)のマニュアルモードにおいて、入力する桁数が偶数の場合 ➜LBのフォーマットにしたがって入力し直してください。 • バーコード印刷(ITF)のチェックデジット「無」において、入力する桁数が奇数の場合 ➜先頭に「0」を付けて入力し直してください。 • バーコード印刷(ITF)のチェックデジット「有」において、入力する桁数が偶数の場合 ➜先頭に「0」を付けて入力し直してください。	56
桁数が不足です	• バーコード印刷で、印刷できる桁数に満たないまま印刷しようとした場合 ➜正しい桁数に入力し直してください。	56
行数オーバー 印刷できません	• 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	118
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	• フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	54
候補なし	• 単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➜ [取消し] を押して違う読みを入力してください。	76
指定したテープ長より長くなります 実行/取消し	• 印刷する場合 ➜ [実行] を押してください。 • 印刷しない場合 ➜ [取消し] を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などを行ってください。	46
数字を入力してください	• ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 ➜数字を入力してください	33
パソコンとの接続を確認してください	• USBケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 ➜USBケーブルをコネクターにしっかりと差し込んでください。 • パソコンの電源が切れている場合 ➜パソコンの電源を入れてから操作してください。	−

メッセージ	原因と対処	参照ページ
データ異常　初期化してください	• メモリー初期化をしないで本機を操作した場合 ➜メモリーリセットをしてください。	17
データ未登録	• 登録されていないプリセットタイトルを呼出し･修正･削除しようとした場合 ➜別のプリセットタイトルを選択してください。 • 登録データの呼出しや削除で、データが1つも登録されていない場合 ➜データを登録してください。	68、90
テープエラー テープカートリッジが不適当です	• テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 ➜カバーをしっかりと閉めてください。 • 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 ➜電源をOFFしてテープカートリッジを交換してください。	20
	• 電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 ➜電源をOFFしてテープカートリッジを交換してください。	20
テープエラー テープカートリッジを装着してください	• テープカートリッジが装着されていない。または、装着のしかたが誤っている場合 ➜テープカートリッジの状態を確認してください。	19

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	• 印刷中に、テープがつまってしまった場合 ➜電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。 • オートテープカッターに異物がはさまった場合 ➜電源をOFFして、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。	20
	• ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物がついた場合 ➜ゴムローラーについた異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。	102
	• 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用し、本機内部にある光センサーが誤作動を起こした場合 ➜電源をOFFした後、強い光が当たらない場所でお使いください。	
	• マグネットテープを使用してカットモードを「通常」「切り離す」にした場合 ➜カットモードを「カットしない」にして印刷してください。	66
	※上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	137

メッセージ	原因と対処	参照ページ
電池残り少　続行しますか？ 実行/取消し	• 乾電池が消耗している場合 ➜できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または同梱のACアダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	101
電池残り少　交換してください	• 乾電池が消耗している場合 ➜できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。または同梱のACアダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	101
長さオーバー 印刷できません	• 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 ➜テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。	44
長さが短すぎてカットできません 実行/取消し	印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合 • 印刷する場合 ➜ 実行 を押してください。 印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。	43、64

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さが短すぎてカットできません 実行/取消し	• 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合 ➜余白を大きく（小➜中または中➜大）指定し直してください（カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます）。	43、64
ブロック数オーバー	• 16個目のブロックマークを入力しようとした場合 ➜文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。	38
ブロック数オーバー ペーストできなかった文字があります	• コピーした文字を貼り付けるとブロックマークが16個以上になる場合 ➜貼り付けるブロックマークを含めた総ブロックマーク数が16個以上にならないように入力し直してください。	38、93
無効な文字があります	• バーコード印刷で、入力可能な文字種以外の文字を入力して印刷しようとした場合 ➜不適当な文字を削除してください。 • バーコード印刷（CODABAR）で、スタートコード（先頭）またはストップコード（末尾）に「A」「B」「C」「D」以外の文字を入力して印刷しようとした場合 ➜正しい文字を入力し直してください。	56

メッセージ	原因と対処	参照ページ
メモリーオーバー　登録できません	• メモリーの容量が足りず登録できない場合 ➜登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。	69
メモリーオーバー 編集終了時に登録できません 実行/取消し	• 登録のためのメモリー容量がいっぱいになった状態で、作成しようとした場合 ➜登録しない(作成と印刷のみ行う)場合は、実行を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。	69
文字が入力されていません	• 文字を入れないで印刷または印刷プレビューしようとした場合 ➜文字を入力してから印刷または印刷プレビューの操作をしてください。	24
文字数オーバー 参照できなかった文字があります	• プリセットタイトルを49文字を超えて参照作成しようとした場合 ➜先頭から49文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。	90
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	• コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 ➜貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	92
文字数オーバー　呼出しできなかった文字があります	• 選択したプリセットタイトルを呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 ➜プリセットタイトルを含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	90

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ行	あ ア	A	い イ	I	う ウ	U	え エ	E	お オ	O
か行	か カ	KA CA	き キ	KI	く ク	KU CU QU	け ケ	KE	こ コ	KO CO
が行	が ガ	GA	ぎ ギ	GI	ぐ グ	GU	げ ゲ	GE	ご ゴ	GO
さ行	さ サ	SA	し シ	SI SHI	す ス	SU	せ セ	SE	そ ソ	SO
ざ行	ざ ザ	ZA	じ ジ	ZI JI	ず ズ	ZU	ぜ ゼ	ZE	ぞ ゾ	ZO
た行	た タ	TA	ち チ	TI CHI	つ ツ	TU TSU	て テ	TE	と ト	TO
だ行	だ ダ	DA	ぢ ヂ	DI	づ ヅ	DU	で デ	DE	ど ド	DO
な行	な ナ	NA	に ニ	NI	ぬ ヌ	NU	ね ネ	NE	の ノ	NO
は行	は ハ	HA	ひ ヒ	HI	ふ フ	HU FU	へ ヘ	HE	ほ ホ	HO
ば行	ば バ	BA	び ビ	BI	ぶ ブ	BU	べ ベ	BE	ぼ ボ	BO
ぱ行	ぱ パ	PA	ぴ ピ	PI	ぷ プ	PU	ぺ ペ	PE	ぽ ポ	PO

ま行	ま	マ	み	ミ	む	ム	め	メ	も	モ
	MA		MI		MU		ME		MO	
や行	や	ヤ			ゆ	ユ	いぇ	イェ	よ	ヨ
	YA				YU		YE		YO	
ら行	ら	ラ	り	リ	る	ル	れ	レ	ろ	ロ
	RA		RI		RU		RE		RO	
	LA		LI		LU		LE		LO	
わ行	わ	ワ	ゐ	ヰ	う	ウ	ゑ	ヱ	を	ヲ
	WA		WI		WU		WE		WO	
ん行	ん	ン								
	NN，N+子音 MP+母音 MB+母音									

きゃ行	きゃ	キャ	きぃ	キィ	きゅ	キュ	きぇ	キェ	きょ	キョ
	KYA		KYI		KYU		KYE		KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ギャ	ぎぃ	ギィ	ぎゅ	ギュ	ぎぇ	ギェ	ぎょ	ギョ
	GYA		GYI		GYU		GYE		GYO	
くぁ行	くぁ	クァ	くぃ	クィ			くぇ	クェ	くぉ	クォ
	QA		QI				QE		QO	
くわ行	くわ	クヮ	くぃ	クィ	くぅ	クゥ	くぇ	クェ	くぉ	クォ
	KWA		KWI		KWU		KWE		KWO	
	QWA									
ぐわ行	ぐわ	グヮ	ぐぃ	グィ	ぐぅ	グゥ	ぐぇ	グェ	ぐぉ	グォ
	GWA		GWI		GWU		GWE		GWO	
しゃ行	しゃ	シャ			しゅ	シュ	しぇ	シェ	しょ	ショ
	SYA				SYU		SYE		SYO	
	SHA				SHU		SHE		SHO	
じゃ行	じゃ	ジャ	じぃ	ジィ	じゅ	ジュ	じぇ	ジェ	じょ	ジョ
	ZYA		ZYI		ZYU		ZYE		ZYO	
	JA				JU		JE		JO	
	JYA		JYI		JYU		JYE		JYO	
ちゃ行	ちゃ	チャ	ちぃ	チィ	ちゅ	チュ	ちぇ	チェ	ちょ	チョ
	TYA		TYI		TYU		TYE		TYO	
	CYA		CYI		CYU		CYE		CYO	
	CHA				CHU		CHE		CHO	

ぢゃ行	ぢゃ	ヂャ	ぢぃ	ヂィ	ぢゅ	ヂュ	ぢぇ	ヂェ	ぢょ	ヂョ
	DYA		DYI		DYU		DYE		DYO	
つぁ行	つぁ	ツァ	つぃ	ツィ			つぇ	ツェ	つぉ	ツォ
	TSA		TSI				TSE		TSO	
てゃ行	てゃ	テャ	てぃ	ティ	てゅ	テュ	てぇ	テェ	てょ	テョ
	THA		THI		THU		THE		THO	
でゃ行	でゃ	デャ	でぃ	ディ	でゅ	デュ	でぇ	デェ	でょ	デョ
	DHA		DHI		DHU		DHE		DHO	
とぅ					とぅ	トゥ				
					TWU					
どぅ					どぅ	ドゥ				
					DWU					
にゃ行	にゃ	ニャ	にぃ	ニィ	にゅ	ニュ	にぇ	ニェ	にょ	ニョ
	NYA		NYI		NYU		NYE		NYO	
ひゃ行	ひゃ	ヒャ	ひぃ	ヒィ	ひゅ	ヒュ	ひぇ	ヒェ	ひょ	ヒョ
	HYA		HYI		HYU		HYE		HYO	
びゃ行	びゃ	ビャ	びぃ	ビィ	びゅ	ビュ	びぇ	ビェ	びょ	ビョ
	BYA		BYI		BYU		BYE		BYO	
ぴゃ行	ぴゃ	ピャ	ぴぃ	ピィ	ぴゅ	ピュ	ぴぇ	ピェ	ぴょ	ピョ
	PYA		PYI		PYU		PYE		PYO	
ふぁ行	ふぁ	ファ	ふぃ	フィ			ふぇ	フェ	ふぉ	フォ
	FA		FI				FE		FO	
ふゃ行	ふゃ	フャ	ふぃ	フィ	ふゅ	フュ	ふぇ	フェ	ふょ	フョ
	FYA		FYI		FYU		FYE		FYO	
ぶゃ行	ぶゃ	ブャ	ぶぃ	ブィ	ぶゅ	ブュ	ぶぇ	ブェ	ぶょ	ブョ
	VYA		VYI		VYU		VYE		VYO	
みゃ行	みゃ	ミャ	みぃ	ミィ	みゅ	ミュ	みぇ	ミェ	みょ	ミョ
	MYA		MYI		MYU		MYE		MYO	
りゃ行	りゃ	リャ	りぃ	リィ	りゅ	リュ	りぇ	リェ	りょ	リョ
	RYA		RYI		RYU		RYE		RYO	
	LYA		LYI		LYU		LYE		LYO	
ヴァ行	ぶぁ	ヴァ	ぶぃ	ヴィ	ぶ	ヴ	ぶぇ	ヴェ	ぶぉ	ヴォ
ぶぁ行	VA		VI		VU		VE		VO	

小文字(拗音・促音)

あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ	つ	ツ
XA		XI		XU		XE		XO		XTU、XTSU、LTU	
シフト+A		シフト+I		シフト+U		シフト+E		シフト+O		T シフト U TS シフト U	

や	ヤ	ゆ	ユ	よ	ヨ	わ	ワ	カ	ケ
XYA		XYU		XYO		XWA		XKA	XKE
Y シフト A		Y シフト U		Y シフト O		W シフト A		K シフト A	K シフト E

※N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字一覧

記　号

●記述・カッコ

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】ゎゐゑヵヶ

●学術

＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀∠⊥⌒∂∇
≡≒≪≫√∽∝∵∫∬∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨
¬⇒⇔∀∃∓≃

●単位・略

°′″℃¥＄¢£％Å‰♯♭㎎㎡㎥ℓHPびHz㍉㌢㍍㌘㌔㌻㍑㌧〒㉿☎TEL FAX No. K.K. (株) (有) (代) (内) (直) (呼) (財) (特) (学) (代表) (注) (控) (印) (秘) (検) (済) 明治 大正 昭和 平成 '90 '91 '92 '93 '94 '95 '96 '97 '98 '99 '00 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19

●一般

＃＆＊＠§※〓♯♭♪†‡¶◯→←↑↓↘↖
↗↙⇨⇦⇧⇩⇔⇳☞☜☝☟☆★○●◎◇◆□
■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦♢

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
½ ¼ ¾

記　号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ
Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

絵文字

●オフィス

●スケジュール

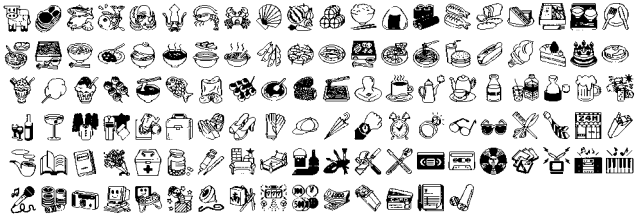
●天気

●注意

絵文字

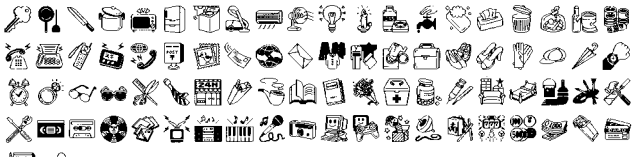
●案内

●店



●食べ物

●暮らし



●乗り物

絵文字

●季節

●ビデオ

●オーディオ

●おもしろ

●趣味

●スポーツ

●人物

絵文字

●生き物

●干支

●星座

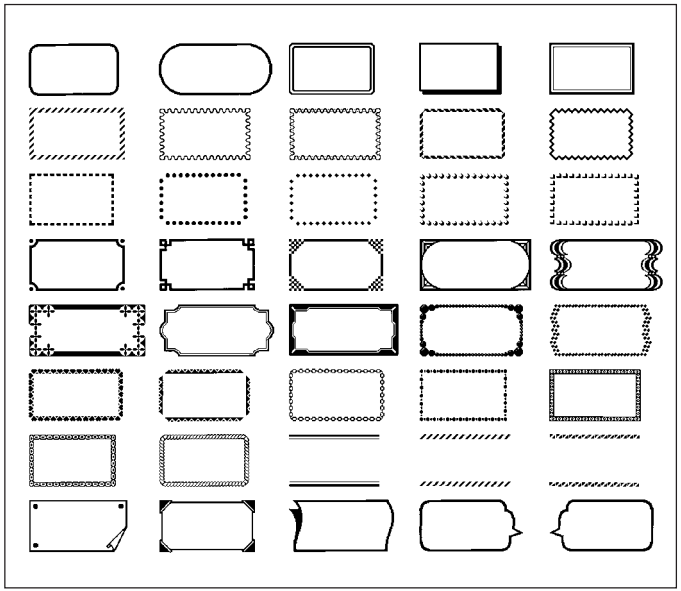
●全部

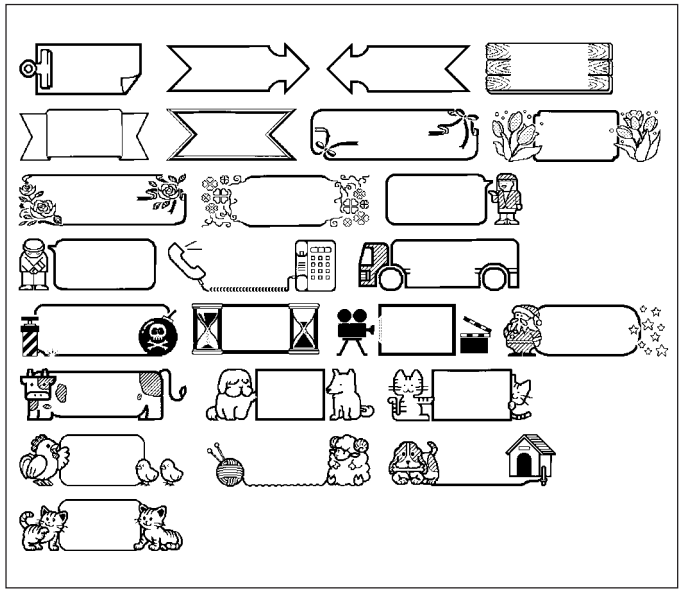
「オフィス」から「星座」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

QRコード専用記号

、。・‥…：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝ
ゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－
±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃¥＄¢
£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔
∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯
♭♪†‡¶◯
ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥ
ΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπ
ρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮ
Яабвгдеёжзийклмнопрс
туфхцчшщъыьэюя

フレーム一覧

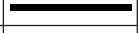
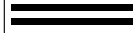


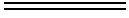
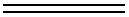


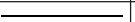
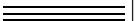
用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS（148㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
		縦	4		タイトル1～3						
		縦	5		タイトル1～3、タイトル4～6						
	ミニDV（65㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント1～2						
		縦	4		タイトル1～3						
	8ミリ（94㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント1～2						
		縦	4		タイトル1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（17種類）	VHS-C（89㎜長）	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3						
		縦	4		タイトル1～3						
オーディオ（15種類）	MD（71㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	MD背（57㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
	カセット（99㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD-R（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	CD-R背（114㎜長）	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	一般（65㎜長）	横	大1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		なまえ、こうもく						
		横	大3		なまえ、こうもく1～2						
	一般（45㎜長）	横	小1		こうもく、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		なまえ、こうもく						
		横	小3		なまえ、こうもく1～2						
	子供（80㎜長）	横	大1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ねん・くみ、なまえ						
		横	大3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	大4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	子供（50㎜長）	横	小1		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ねん・くみ、なまえ						
		横	小3		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
		横	小4		がっこう、ねん・くみ、なまえ						
	ふりがな付（80㎜長）	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						
	ふりがな付（50㎜長）	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	封筒（210㎜長）	縦	大1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	大3		じゅうしょ、なまえ						
	封筒（140㎜長）	縦	小1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	小3		じゅうしょ、なまえ						
	はがき（90㎜長）	縦	1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	2		じゅうしょ、なまえ						
		縦	3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（65㎜長）	縦	大1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	差出人（45㎜長）	縦	小1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ						
	のし紙（95㎜長）	縦	大1		こうもく	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		こうもく1～2						
		縦	大3		こうもく1～2						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
送付(19種類)	のし紙(65㎜長)	縦	小1		こうもく	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		こうもく1〜2						
		縦	小3		こうもく1〜2						
ファイル(17種類)	ファイル背(180㎜長)	縦	大1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	大2		タイトル1〜2						
		縦	大3		ぶんるい、タイトル、コメント1〜3						
	ファイル背(140㎜長)	縦	小1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	小2		タイトル1〜2						
		縦	小3		ぶんるい、タイトル、コメント1〜3						
	FD/MO(71㎜長)	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル1〜2						
		横	3		タイトル、コメント1〜2						
	CD-R(114㎜長)	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1〜2						
		横	4		タイトル1〜3						
	CD-R背(114㎜長)	横	1		タイトル	−	−	−	−	○	○
		横	2		タイトル、コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ファイル(17種類)	備品管理(70㎜長)	横	1		こうもく1〜3、ないよう1〜3	○	○	○	○	−	−
		横	2		こうもく1〜2、ないよう1〜2						
値札(10種類)	総額のみ(70㎜長)	横	大1		コメント、ねだん	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ひんもく、ねだん						
		横	大3		ひんもく1〜2、ねだん						
	総額のみ(50㎜長)	横	小1		コメント、ねだん	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ひんもく、ねだん						
		横	小3		ひんもく1〜2、ねだん						
	本体併記(70㎜長)	横	大1		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	○	−	−
		横	大2		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい						
	本体併記(50㎜長)	横	小1		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	○	−	−
		横	小2		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい						

ナンバリングフォーマット一覧

※3.5mm幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						24	18	12	9	6
		横	1		ナンバー	○	○	○	○	○
		横	2		コメント、ナンバー					
		横	3		ナンバー、コメント					
		横	4		コメント1、ナンバー、コメント2					
		横	5		コメント、ナンバー					
		横	6		ナンバー、コメント					

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大"縦"倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/24mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	4行	39ページ 53ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	8行	85ページ
最大"縦"倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	5倍	50ページ 53ページ
	微小フォント	1倍	1倍	2倍	3倍	4倍	85ページ
"縦"倍率の合計	標準フォント	—	1	2まで	2まで*	4まで*	39ページ 50ページ 53ページ
	微小フォント	1	2まで*	3まで*	5まで*	8まで*	85ページ

*複数行のときの合計です。

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル	○	○	○	○	○	○
拡大印刷	×	×	×	○	○	○
バーコード印刷	×	×	×	○	○	○
QRコード印刷	×	×	×	×	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
ロゴコレクション	×	×	×	×	○	○

拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

	3.5mm/6mm/9mm	12mm	18mm	24mm
2段	×	24mm	30mm	30mm
3段	×	36mm	45mm	45mm
4段	×	48mm	60mm	60mm

※18mmもしくは24mm幅のテープを使用する場合は、テープの上下に余白ができるので、テープを切ってから貼り合わせるか、透明のテープに印刷して重ね貼りしてください。

内蔵漢字一覧

内蔵されている漢字の中には単漢字変換（76ページ）を使わないと変換できないものもあります。

JIS第1水準漢字一覧

あ
亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按暗案闇鞍杏

い
以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻吋

う
右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲

え
荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩

お
於汚甥凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穏音

か
下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩癌眼岩翫贋雁頑顔願

き
企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近金吟銀

く
九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫訓群軍郡

け
卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺限

こ
乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐糊袴股胡菰虎誇跨鉾雇顧鼓五互伍午呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閣降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮魂

さ
些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸餐斬暫残

し
仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌諮諚賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣靭

す
笥諏須酢図厨逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄摺寸

せ
世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨腺舛船薦詮賤践選遷銭銑閃鮮前善漸然全禅繕膳糎

そ
噌塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊族続卒袖其揃存孫尊損村遜

た
他多太汰詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談

ち
値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍賃鎮陳

つ
津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴

て
亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点伝殿澱田電

と
兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島鳩悼投搭東桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍

な
奈那内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難汝

に
二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入如尿韮任妊忍認

ぬ
濡

ね
禰祢寧葱猫熱年念捻撚燃粘

の
乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農覗蚤

は
巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩頒飯挽晩番盤磐蕃蛮

ひ
匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻敏瓶

ふ
不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰文聞

へ
丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変片篇編辺返遍便勉娩弁鞭

ほ
保舗鋪圃捕歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆

ま
摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鯖柾鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫蔓

み
味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民眠

む
務夢無牟矛霧鵡椋婿娘

め
冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺

も
摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻籾貰問悶紋門匁

や
也冶夜爺耶野弥矢厄役約薬訳躍靖柳薮鏃

ゆ
愉愈油癒諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕

よ
予余与誉輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲沃浴翌翼淀

ら
羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覧

り
利吏履李梨理璃痢裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟

る
瑠塁涙累類

れ
令伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬

ろ
呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論

わ
倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

JIS第2水準漢字一覧

複数の読みがある漢字は、重複して掲載しています。

あ
亞侑傲價啖喘鳴嗟嘲圷址埃墟婀嫂寇廈彙怱悛慣扼晏晨晟晰曖曠椹殷沐洒浣淺游滌澹炙炯炮焙煥爭當痣皓皹盪矜矮糺綺縣羹聚與萓葭蔬薊藜藹蘆蛆蜊蜚覿誂諄證豈贖趾跌踪軋逓邂邉鐮阡陰霎霰靄鞋頴顯餡饒鮑鮫鰺鰒鰊鵜鷲堯

い
佚勳嚴圷壹奥巌巳帷廈廬弩彙忿慇愾愴憮戉戦摯曰桴棘櫟殷毬氣洟湮澳炒焉熨爲壹疣疼痩礒齋稲絲綸綛聊苺藺蚓蜀蝟蝗蟲誖詭誂諢諱鄙鈑鑄閾陋隕頤鯆鰡鰛鼬鼾

う
侑吽呻唸鳴嘔嘯婉嫗悁憫罹搏撼暈栩棯鬱沽疇疼盂碾筌糎紆茴萼藝蘊蛆蟒蠢袿裲謡謳賣釉鑿閾闥靱頌頴飩饂饉鶯鶫鷲齲

え
冤嚥圓婉嫣彗徊惠抉捐掏曰朶條榮槐泄衍逓渕湮烟焉狄穢筵箙篶綛繹鬻腋莚蛯蜒蝪裔豌錻閤霎靡鯣鰓

お
侈俤倨傀傲儼凰厖吝鳴嘔嚴囲嗇夥奢奥奸嫗屏崗帶惧愕惶慄慳懊應懐扼拗拝拇掟撥收斂晏朦朧枉檻櫻欅汪游澳熨獺甌疽瘧窪筴絨脩隋膃荘蜃蟒諮諞邱隕隴竟頌頤颪飫餞驕鰛鴛鷺熙

か
仄佻會偕傀價冑函刮剋卷厠呵咀咬喀嗅噌囲壘夥奸姜嬶孵學嵌嶽帷度徊悍愕愾慳懐罹揶揄搦搦攫攅數旱暈暉枷枳檜栞框桿楷楫楮槐槁樂檻櫂欟沽浣涸滓溉煥煌燗燎燿爨爬猾獲獺珈瑕甌疥疳疸痒瘍瘡癇盥眷瞰矍礙窩竃竸筺筴籠簔籃糜絣綸絨罐羚羹翔翡翳胛膾臈舸艱艾茴菁葭萼蕾薙虔蚋蠣蛞蛯蝸蝪蝣蝋蟷蟐蠑蠢衙袈褶訛訝諌諧諤卻豈貉贓踝踵辣邂邯醸鉗鈎鉋錻閂閹霍鞋頴顆餉餡馘馥駱騙鬟鮹鰈鳧鴉鷲鵠鶚鶯鸛徽鼾齟齬

き
来倨兢几剪卉听咎哄喀嗅嚴毀墟夾姜嬌屓屹峡嵜悸愾愧憮勲截拮拱挟揆暉杞杣枳枢框梟檎棘槿橇檗藥櫃欅毬麾氣淨澀炯炬狡狭瑕畸疆疵痩瘍瘧瘡癸皃矜礒秬奸筺筥糺絆綺緤羇膠舅莢菫薑蚯蛟蟯衾詭諱譴譏豈赳跪躬軋轢辟濾邸鋏鑚雉竟餃饉鴪馼驍驤鬯魏鱚麒堯熙

く

來勳吼啖啾嘴圀國屎岫峅惧懴斟曖杞栩梳栃椚椥楔槫樔淋澳燻癲皹眩瞑砕箝箆箪綛茱萸茹藏藥蚯蛄蛛踝踵鉤勒頸頽戯黎齲

け

儉刮劍劒勁巻呟嚴奎奸嶮巖彗惠慳憬抉拮楔檄検欅氣炯烟痙眩眷睨瞼礙禊穢筧箝縣纈脛膕鞭艾薊藝虔蛄蜆蜷螢蠖蠍銜袿褻訝蹊釵鉗閏險竟頸顯験鯢鳥鴃鵙鶏韜

こ

亢傲兒凩凰剋吽吼咬哄哮哭圀國毀壼壹壽夾媚寇峡崗嵐廣徨怙恆恍惶慷應勲戀戮拱拵捏攪敲贕杞框梱棍楮槁毫汞沽洸洄涌渾滓潴濾炬煌狡狭猴珈琥琺瓠瘤皓盒盡睾礫禀笏箍箏筝篁篝籠粳糀繊纈羹聲肛胛朏膠茹薑薨蘚號蛄蛟蝠蝗蝙蟋蜂褝詁誅譽研蹊轉逓鈎錮鏝鐺鑞閘靹餃閑鰯鯒鰊鰺鸛

さ

倅凜剎哮噛嗟噪囁囀塹壯奠娑寞寥嵯崔彗彷徊徘徨悧惰慷懴捜晏柞椒椁椹榮榴様櫻殷麾沛洒浚潔淬滄澤炸熾爨狭猜猴瑣疆疝盒砌碎磋礫礙祿齋竇笊笶簀簪聴臍莢蔗薈藹蛹蝎蠍鷯讒賽蹉躁逍鏨鑚鑿閂雑霰靱颯髏髑鰓鰆鷦鷯齊熙

し

乗侈侏俎僣兒廁呵呻咀咄咤啾嗟嗜嘴嘯嚼嚊嚠址塒壽奢姜娑娜婀宸實將屎岫峙嶌嶼幟廂従忸恣悄悛愼憔戌掟揉搦攝摯攘收敍斟昵晨晰杼枳栞梔條棕椒棯楫椹樅樒檢櫚鬱歿泗衍洵洒浚淨湮淋淬漿滲滌澑瀘炙炒熾燗猩疊疵疽痣痺癪皺盡眞睫睛祀祠齋稠穣笏笙筍箏笋篩簪籔絲絨綽縒繝纉蓋翅翔聚雀聲肆脩臀臈鼻舐舳芍茱茹茆莊菘菁蒻蓦蔗蕭薈藉虱蛆蛛蜆蜀蜑蝨蝿蠏蠎蠖蠱裝褝蠢襍褶襦誨詛詢誦誣諄諮證譲贇贖趾踩踵蹙踪躾遼逍醸釋鉈鍼鑰鎭鐔鑄鑠閾隣靜頌顰餉饒験騒髏髑髪鮨鮹鰡鯱鰓鰌鰺鰤鱶鴟鵠鵜鶲鶸鷦麝齟槇

す

侑圖壽已彗悴拌捐掏擂數昂梳條橲毫漱潴燹犂狡皺穂簀篶糘蓋脛脩隋膵臈芻董菘藥蝪螟裔辻迪酔銛閘隧鬚魎魑鮨鯣鱸鼇

せ

倅倹僣剎剪喘單塹悴截戦攝擅晟晰楔橇殱氈泄涎淺潔炙狭猩疝癬睛砌褝窄笘筌笶筏筮箋篦篠緤聟聲臍菁薇藉薈蘚蚋蝣蜥蜩褻贅蹙銛銭阡陋隘靜餞髯鴒鶺齊

そ

仄俎倅倹夲雙咀噪囃壮嫂屹峙廂忖怱愴拵捜杣梳棕棗橇滄溉漱炒爭猜疽瘡盥竃笊笙箒箏筝籔粽總續聳聰艘荘蔬薈藪藏蛆装詛諷謗譏讒贓踪躁郤雑颯鰺齟

た

井亢佇侘侑儼兌咤啖單噛嗜團埜垉壜娜婀嫋寳嶽帶帷幇彈怙悍憚憑截戦拿撻敲朶梳棣橡槃樂橙毯洸潭澤澹瀑炬燵爛爲默獺玳瑶璧當疊疽痰癬盥眈瞞磔筍箍篁糜糲糺緞繹羈隋茶蓼蕘葆襷譚譫貪赴躇躊迪逞鏨鐔頌頽颪駝駘騙験體鬩魄鮹鴕齊堯

ち

佇佻倫宵嘲埃帙掉擲昵晁晝杼梃楮椹潔潴狆瑣疇疊稠笞粽緻膣舳蛛蜩螯蟲褶誄誂貂趙躇躅躊邇鍮鎭鑄閭闖雉魑鰈

つ

亞傳倹兢几剣劒勁晄壼姜恆愼憊憑拿搗攬攫敍旁梃棍榴殱潴琲盡絆績罐翅苞蕾蘊虔褄訃赴跌蹉躅躔釉釵鋏鐔頌顆飄鶇

て

佚傳儡剎唸啼囀奠幀捏掟擲晟桿栴梃棣楷榛涕涅滌狄癲皓碾篆纒臀銜覿諂貂跌躔轉迪逞酊鈿鐡體熙

と

井俘偕倫吶咎咄咤嘲團壘壜嶌帷幀弩慟掬掉攝搗搏攬晨杼栩檮棘棹堂橙檢櫂檸濤滔獨獰瑙當疼盪瞠礪齋稻籘絨緞縢纒耄肭臀與艫茶薹蚌蛉蝪蝣蜥蜚蟷襠訃訶誦讀貪躅邨酘錮鑰鑓鑠陏鞆飩蠡鬮鬨鰌鴟鵜鷯齊

な

儺雙哭啼喃嗟娜嬌愾慷慟懊拿拋擲棗泗泪洟涕濤瀾爲畉睥糲繩脩膾舐薺蛞蝓褻訛邊邉鉈霖鯵靡

に

兒怱搦棣楡渾滲瀑燗皰眛睨膠茹茶蒻蜷貳贅邇遖霍饒騒鯡鰊鶏

ぬ

偸埜攘濘糎蓴鵺

ね

塒俟恪勲拗捏捩棯檸涅濘猜諄闥鯰

の

乗亢佚嚊宸幟敍曰烽熨瑙禮篤脩芒詛詈鑿頌堯熙

ほ

儚函刎辨匍匐卍咄喀喇囃夾婢孕寞峡嵌彈彙徘忖忸愧颪憚憑拝拌拂拮挟捩搏撥攀攘旛杞柞椒槃樂藥沛洟衍滔濱瀑焙爬獏玻珀琲瑪瓣疥癸盂瞞礫轡祓秣筺筈箒絆羞翅胚脛腑艀苺范茉菠萼萬纂董薔薇蝋蓁蟠袢襦詢譚貉貘責跛跋邁鈑鉋鋏鍼雹霹颯餞驀驟鬟魄鬩鰌鱶鱧徽鼾遙

ひ

几剽曼單壜壼壽婢媚嬪將屁屓屏廂廣彌轡憑憫扁拂攣旱晝暉枢檜槃藥櫃檳洽洸滉濱炯煥燧狒珀琲瓠疥痙痺痢皓皹眸睛矮砒碾裔寮廩糜罠罷翡脾臂苞薇蜚蓁襃襴譬贔跛跪轣迪鄙闊闢雹鞴蠏飄髀髯鬚魁鮃鰭鵯鶸靡徽齊熙

ふ

佛俘俯刎匐雙哺奎搬巫帙彿忿懐拂掉梟桴桾槫檄渕潭瘋祓祿笙箆箙篝篩總腑艀艘蚋蚌蝠蝮衾袱褌訃誣諤跋蹂躙躙輻迪郭錮鞴馥鰒鰤鰭鳧鴟鷲麩

へ

辨屁屏扁捐朶壁瓣眄睥瞑砒篦聘臍舳蝙螟袂襞諂諛貶辟辯邊邉酩闢霹騙鮃鼈

ほ

仄佛僥匍匐厄吋吼咆哮哺埃塹寳彪幇彗彷彿恣拇拋擅旁旙昂朦桿梵榜檬歿殱沐澑炮烽焙黙琺瑁甌薨疱痣皰眸硼祠穂箒絣罐耄肆膀臍舫芒苞茫菠萠蒡蔭蛙鮑螢蟒畏謗謦邊鉈鉋鞴頌馗鰯鮑鯆鰡鷲

ま

俎卍巻曼圓團娑學寞將彪彎懣屍杜枡毬洵淆滿瑁當眞睫瞞瞼祀秣紆繚纒笏苺茉萬蝮蓁襠詢諄賣邁錻鏝雜饅驀髷鬘槇

み

實巫彌憫樒汞滿澪潴猥獏癸瞠瞰砌磋蠶襖銛罠聊肆茗薨蚓蚯蛟螟躬迪醂阡隧霎馗馘鶚鷦鷯靡遙

む

彪巫撻曠橿眸窩笘笞筵縢聳莚蟲貉貪賽邨鈍齲

め

惠暈瑠瑪眩瞑笹紆繚聘茗螟邂邏酩

も

傀刺址懣揉朦樅檬氈沐泄燗默疱齋糯耄脾舫艾芒萠銛靄髀魍鴃鵙

や

已恪悴憔扼揶晏棠椰烙燎築繹腋菟葯薮蕨藥循輻鑢頤鵺

ゆ

佻侑喩岼揄揺檮楡游疣禅綽臾觚茹萸蚰蝓蝣裄諛譲邁釉饒鼬

よ

豫兌夭佞孕憑拗揺攀様涎燿瑤痒瘍縒與艾萬葯蕭蕨蛹衾装詁誦謡謦讀酊酩酔閾醤鴦鸚遙熙

ら

來儡剌喇拉擂攪樂欒涮瀾烙燗爛癩磊禮籃纜薙雷襴辣邏醂駝駱騒鷺

り

凜吝寥崚廬悧恪慄罹戮榴橿濾燎瘤稟禀築綸繚羚聊莉蓼蔭蘭蛤蛎裲詈躙輔醂鑢隴霖驢麺鷯凜

る

壘泪瘤縷髏

れ

冽戀捩攣斂檸檬櫟澪澱挈礪礫禮羚蒻蛤蠣轢靂鰊鱧鴒黎

ろ

廬拉朧柧樓櫟橿濾瑯碌祿籠縷臘臈艫蘆鄭螻轆轤鑢陋隴勒驢髏鱸

わ

侘辨听呵夭彎悸拌猥猾獰瓣矮穢穣窩罠腋膀藝蟠豌鞋

仕様

形式　：KL-M20

入力

キー配列　：JIS配列準拠
入力方法　：ローマ字入力、JISかな入力
変換方式　：熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数：熟語変換　約142,000語(派生語を含む)
　　単漢字変換　約13,000語

文字種

6,214文字(+外字4文字)

漢　字：4,166文字
　JIS第1水準 …… 2,965文字
　JIS第2水準 …… 1,201文字
ひらがな：249文字
　全 角 …… 83文字
　上付、下付 …… 166文字
カタカナ：258文字
　全 角 …… 86文字
　上付、下付 …… 172文字
数　字：30文字
　全 角 …… 10文字
　上付、下付 …… 20文字
アルファベット：156文字
　全 角 …… 52文字
　上付、下付 …… 104文字
ギリシア文字：48文字
　全 角 …… 48文字
ロシア文字：66文字
　全 角 …… 66文字
記号：685文字
　全 角 …… 385文字
　上付、下付 …… 300文字
絵 文 字：556文字
　全 角 …… 556文字

※外字は4文字まで登録できます。

表示

液晶表示　：96×64ドット+シンボル(6桁×4行)
入力部分　：6桁×1行(フリーラベル以外での入力時)
　　6桁×3行(フリーラベル入力時のみ)
表示文字構成：16×16ドット(全角)
　　8 ×16ドット(半角…メニュー・メッセージ専用)
　　8 × 8 ドット(1/4角)

印刷

印字密度　：200dpi
印刷方式　：熱転写方式
印字速度　：約12.5mm/秒
印字幅　：約16mm
　a)2mm(テープ幅 3.5mm)
　b)4mm(テープ幅 6mm)
　c)7mm(テープ幅 9mm)
　d)10mm(テープ幅 12mmで通常印刷時)
　e)12mm(テープ幅 12mmで拡大印刷時)
　f)16mm(テープ幅 18mm/24mm)

文字構成　：ビットマップフォント
書　　体　：和文書体(明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体)
欧文書体(明朝体※、角ゴシック体※、丸ゴシック体、ステンシル、ポップ、ボールドスクリプト、ブラッククレター)
※この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
フォントとして無断複製することは禁止されています。
平成明朝体™W8、平成角ゴシック体™W5
印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜・影付・立体
印刷行数　：3.5mm幅テープ使用時　1行印刷可能
6mm幅テープ使用時　1～2行印刷可能
9mm幅テープ使用時　1～3行印刷可能
12mm幅テープ使用時　1～5行印刷可能
18mm/24mm幅テープ使用時
1～8行印刷可能

内部記憶

文字登録用の記憶　：約2,000文字
熟語変換学習　：約125語
単漢字変換学習　：約20語
プリセットタイトル　：最大で49文字、9語まで登録可能
コピー/ペースト　：最大で255文字、1項目のみ登録可能

登録・呼出し

登録　：文字編集用記憶エリア一括登録＋自動ソーティング
呼び出し　：順次呼び出し

電源・その他

動作用電源：ACアダプター(AD-A12090L)
単3形アルカリ乾電池(8本・市販品)
メモリー保護用電池：本体内蔵
内蔵メモリー保護用電池寿命：
本体底面ラベルに表示されている交換時期まで(周囲温度20℃)
交換時期までにお買い上げ販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。(有料交換)
消費電力　：14W
オートパワーオフ　：約6分
※ACアダプターを使用してパソコンに接続したとき、ACアダプターを使用して伝言板を表示しているときには、オートパワーオフは、はたらきません。
大きさ　：幅202mm×奥行216mm×高さ64mm(足含む)
重さ　：約800g(乾電池含まず)
使用温度　：10℃～35℃

別売品一覧

別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランドの
新製品情報については、以下のURLをご確認ください。
http://www.casio.co.jp/d-stationery/nameland/

●テープカートリッジ

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ 旧形番号(KR-24)	18ミリ 旧形番号(IR-18)	12ミリ 旧形番号(KR-12)	9ミリ 旧形番号(IR-9)	6ミリ 旧形番号(KR-6)	3.5ミリ
スタンダードテープ（8m）	白に黒文字	XR-24WE	XR-18WE	XR-12WE	XR-9WE	XR-6WE	XR-3WE
	黄に黒文字	XR-24YW	XR-18YW	XR-12YW	XR-9YW	XR-6YW	
	緑に黒文字	XR-24GN	XR-18GN	XR-12GN	XR-9GN	XR-6GN	
	赤に黒文字	XR-24RD	XR-18RD	XR-12RD	XR-9RD	XR-6RD	
	青に黒文字	XR-24BU	XR-18BU	XR-12BU	XR-9BU	XR-6BU	
	白に赤文字		XR-18WER	XR-12WER	XR-9WER		
	白に青文字		XR-18WEB	XR-12WEB	XR-9WEB		
	金に黒文字		XR-18GD	XR-12GD	XR-9GD		
	銀に黒文字		XR-18SR	XR-12SR	XR-9SR		
	黒に金文字		XR-18BKG		XR-9BKG		
	黒に銀文字		XR-18BKS		XR-9BKS		
	透明に黒文字	XR-24X	XR-18X	XR-12X	XR-9X	XR-6X	XR-3X
	透明に金文字		XR-18XG		XR-9XG		
	透明に銀文字		XR-18XS		XR-9XS		
	透明に赤文字		XR-18XRD		XR-9XRD		
白文字テープ（8m）	緑に白文字	XR-24AGN	XR-18AGN	XR-12AGN	XR-9AGN		
	赤に白文字	XR-24ARD	XR-18ARD	XR-12ARD	XR-9ARD		
	青に白文字	XR-24ABU	XR-18ABU	XR-12ABU	XR-9ABU		
	黒に白文字	XR-24ABK	XR-18ABK	XR-12ABK	XR-9ABK		
	透明に白文字	XR-24AX	XR-18AX	XR-12AX	XR-9AX		

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ	18ミリ 旧形番号(IR-18F)	12ミリ	9ミリ	6ミリ
蛍光色テープ（5.5m）	蛍光ピンクに黒文字		XR-18FPK	XR-12FPK	XR-9FPK	
	蛍光赤に黒文字		XR-18FRD	XR-12FRD	XR-9FRD	
	蛍光オレンジに黒文字		XR-18FOE	XR-12FOE	XR-9FOE	
	蛍光黄に黒文字		XR-18FYW	XR-12FYW	XR-9FYW	
	蛍光緑に黒文字		XR-18FGN	XR-12FGN	XR-9FGN	
メンディングテープ（8m）	黒文字		XR-18MBK		XR-9MBK	
布転写テープ（5m）	黒文字で布地に転写		XR-118BK			
	赤文字で布地に転写		XR-118RD			
	青文字で布地に転写		XR-118BU			
インスタントレタリングテープ（8m）	黒文字		XR-18LBK			
反射テープ（1.5m）	反射黄に黒文字		XR-18RYW			

メンディングテープ
表面をつや消し加工したマットタイプのテープで、貼っても目立たず、コピーしたときでも影が出にくいテープです。また、光らないため図面の修正などに便利です。

布転写テープ
印刷した文字をアイロンを使ってお子様の衣類などに転写するときに使います。*1

インスタントレタリングテープ
印刷した文字だけをノートなどの紙に転写するときに使います。*2

反射テープ
ヘッドライトや懐中電灯等の光に反射するテープで、夜間の安全対策に便利です。*3

*1 化繊、ウール、絹、デニム、パイルなど、布地によっては転写できない場合があります。

*2 転写先の紙質によっては転写できない場合があります。

*3 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
サンリオキャラクターテープ（5.5m）	ハローキティ		XR-18S1			
	けろけろけろっぴ		XR-18S2			
	ポチャッコ		XR-18S3			
	バッドばつ丸		XR-18S4			
	バッドばつ丸とその仲間		XR-18S5			
強粘着テープ（5.5m）	白に黒文字		XR-18GWE	XR-12GWE	XR-9GWE	
	透明に黒文字		XR-18GX	XR-12GX	XR-9GX	
	黄に黒文字		XR-18GYW	XR-12GYW	XR-9GYW	
抗菌テープ（5.5m）	白に黒文字		XR-18BWE	XR-12BWE	XR-9BWE	
	透明に黒文字		XR-18BX	XR-12BX	XR-9BX	
	青に黒文字		XR-18BBU	XR-12BBU	XR-9BBU	

サンリオキャラクターテープ
サンリオキャラクターの絵柄が入った楽しいテープです。
© 1976,1988,1989,1993,2005 SANRIO CO., LTD.

強粘着テープ
接着しにくい場所に貼り付けるときや、長期間にわたってラベルを貼り付けておくときに便利です。

抗菌テープ
抗菌剤を配合することにより、細菌の増殖を抑制する作用があります。
共同で使用するものや、キッチン周りで使用する場合に便利です。

	テープ幅 / テープ色/柄	24ミリ	18ミリ	12ミリ	9ミリ	6ミリ
マグネットテープ（1.5m）	白に黒文字	XR-24JWE				
	黄に黒文字	XR-24JYW				
カラーラインテープ（40m）	赤に黒文字		XR-18TRD	XR-12TRD		
	青に黒文字		XR-18TBU	XR-12TBU		
	黄に黒文字		XR-18TYW	XR-12TYW		
	緑に黒文字		XR-18TGN	XR-12TGN		
アテンションテープ（40m）	黒/黄に赤文字	XR-24W1				

マグネットテープ
印刷後そのまま、ホワイトボードや冷蔵庫などスチール製のものへ繰り返し貼り付けることができます。*4 *5

カラーラインテープ
白地にカラーラインが入ったテープです。ファイルなどジャンルの分類に便利です。

ラインの色によりジャンルを分類できます。

アテンションテープ
注意を促す場所や危険な場所に貼ると効果的です。テープ色、テープ柄と文字色の対比によりラベルの文字を目立たせることができます。

*4 特殊テープのため別売の「マグネットテープ用ハサミ」または市販のハサミを使ってカットしてください。

*5 磁気を使った特殊テープですので、フロッピーディスク、磁気カード、切符等には近づけないでください。

● クリーニングテープ
XR-24CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

● マグネットテープ用ハサミ
CU-15J
本機に装着されているカッターの消耗を避けるためのハサミです。

※品切れの際はご容赦ください。
※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

キー

△▽◁▷ …… 71
aA …… 72
ON OFF …… 12
USB リンク …… 21
あア …… 72
印刷 …… 21
印刷プレビュー …… 21,24
機能 …… 22
空白 …… 74
後退 …… 80
実行 …… 21
シフト …… 74,77
単漢字 …… 76
取消し …… 22
プリセットタイトル …… 90
変換 …… 74
無変換 …… 73
文字削除 …… 80

記号・アルファベット・数字

ACアダプター …… 15
CD-R背ラベル …… 115
MD背ラベル …… 115
MD用ラベル …… 115
USBケーブル …「はじめにお読みください」
USBコネクター …… 12
VHS用ラベル …… 115

あ行

アフターサービス …… 131
網掛 …… 88
アルファベットの入れかた …… 77
イメージャー表示 …… 45
印刷 …… 24
印刷濃度 …… 98
印刷プレビュー …… 21,24
印刷方向 …… 40
印字サイズ …… 50
上付(印字サイズ) …… 86
裏書き …… 41
上書き …… 81
絵文字 …… 79
絵文字一覧 …… 112
エラーメッセージ …… 106
オートパワーオフ …… 17
大文字の入れかた(アルファベット) … 72
送り無 …… 43
オリジナル文字(外字) …… 93

か行

カーソル …… 71
改行 …… 39
外字 …… 93
角ゴシック体 …… 83
学習機能 …… 77
拡大印刷 …… 34
確定 …… 77
各部の名前 …… 12
影付 …… 87
下線(修飾) …… 88
下線(変換) …… 75
カタカナの入れかた …… 73
カタカナ変換 …… 73
カットモード …… 64
かな漢字まじり文の入れかた …… 74
かな入力 …… 72
画面の見かた …… 23
漢字の入れかた …… 74
乾電池 …… 101
乾電池カバー …… 101
キー …… 21
キーボード …… 21
キーのはたらき …… 21
記号一覧 …… 111
記号の入れかた …… 78
輝度(画面) …… 97
行頭 …… 71
行末 …… 71
均等 …… 48,49
均等割付(ブロック) …… 49
均等割付(文字) …… 48
クリーニング …… 102
後退 …… 80
故障かな?と思ったら …… 103
コピー …… 92
ゴムローラー …… 102
小文字の入れかた(アルファベット) … 72
小文字(促音、拗音)の入れかた
(ひらがな・カタカナ) …… 74

さ行

削除(外字) …… 95
削除(部分) …… 81
削除(文削除) …… 81
削除(文字削除) …… 80
参照作成(外字) …… 94
下付(印字サイズ) …… 86
ジャストフィット印刷 …… 50
ジャストフィットマーク …… 51
修正(外字) …… 95
収納部オープンボタン …… 12
熟語変換 …… 74
仕様 …… 124
初期化 …… 17
初期設定 …… 17
初期フォント …… 83
書式 …… 40
　全文単位 …… 41
　ブロック …… 40
書体 …… 83
白抜 …… 87
新規作成(外字) …… 93
数字の入れかた …… 77
スクロール …… 71
ステンシル …… 83
スムージング …… 42
設定
　印刷濃度 …… 98
　輝度調整 …… 97
　初期フォント …… 83
　挿入／上書き …… 81
　ブザーON／OFF …… 97
　ローマ字／かな入力 …… 72
　デモ印刷 …… 98
前候補 …… 75
全文削除 …… 81
全文書式 …… 41
全文頭 …… 71
全文末 …… 71
挿入 …… 81

た行

縦書き印刷 …… 40
単漢字変換 …… 76
データの削除 …… 69
データの登録 …… 68
データの保持 …… 16
データの呼出し …… 68
テープ …… 19
テープ送り …… 26
テープカートリッジ …… 19
テープカートリッジ収納部のカバー … 12
テープカートリッジのセット …… 19
テープカートリッジの取り出し …… 20
テープガイド …… 19
テープカット …… 64
テープ長固定 …… 46
テープ出口 …… 12
テープの長さ …… 44
テープ幅と行数・倍率一覧 …… 118
デモ印刷 …… 98
電源 …… 15
電源を入れる …… 17
電源を切る …… 17
電池をセットする …… 101
登録 …… 68
同音異義語変換 …… 75
取消し(文字修飾) …… 89

な行

内蔵漢字一覧 …… 119
内蔵ロゴ …… 36
中寄せ …… 48,49
中寄せ(ブロック) …… 49
中寄せ(文字) …… 48
ナンバリング(通し番号ラベル) …… 32
入力
　絵文字 …… 79
　外字 …… 93
　記号 …… 78
　文字 …… 72

は行

バーコードラベル …… 56
ハーフカット …… 64
倍率マーク …… 51
パソコンとの通信 …「はじめにお読みください」
微小フォント …… 53,85
左寄せ …… 48,49
表示画面 …… 23
ひらがなの入れかた …… 73
フォーマット …… 30
フォント(書体) …… 83
ブザー音 …… 97
付属品 ……「はじめにお読みください」
太字 …… 87
部分削除 …… 81
ブラックレター …… 83
フリーラベル …… 24
フリーラベルの削除 …… 69
フリーラベルの登録 …… 68
フリーラベルの呼出し …… 68
プリセットタイトル …… 90
プリンターヘッド …… 20
フルカット …… 64
フレーム …… 54
フレーム一覧 …… 114
プレビュー画面 …… 24
ブロック …… 38
ブロック間隔 …… 42
ブロック書式 …… 40
ブロック長 …… 44
ブロック長固定 …… 44
ブロックの割付 …… 48
プロポーショナル …… 41
文削除 …… 81
ペースト …… 92
別売品一覧 …… 126
変換
　カタカナ …… 73
　熟語 …… 74
　単漢字 …… 76
　同音異義語 …… 75

方向(印刷方向) …… 40
ボールドスクリプト …… 83
ポップ …… 83
保証 …… 131

ま行

丸ゴシック体 …… 83
右寄せ …… 48,49
明朝体 …… 83
メモリー(登録) …… 68
メモリーの初期化(リセット) …… 17
文字間隔 …… 40
文字キー …… 22
文字サイズ …… 50
文字サイズ(行単位) …… 52
文字サイズ(文字単位) …… 50
文字削除 …… 80
文字修飾 …… 88
文字体 …… 87
文字の入れかた …… 72
文字の訂正 …… 80
文字倍率 …… 50
文字割付 …… 48

や行

用途別ラベル …… 30
用途別ラベルフォーマット一覧 …… 115
余白 …… 43

ら行

リセット(初期化) …… 17
立体 …… 87
ロゴコレクション …… 36
ローマ字入力 …… 72
ローマ字入力一覧 …… 109

わ行

枠付 …… 88
割付 …… 48

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

MO0508-A　　Printed in China